京城日報

二十一日夕刊
定價 本紙 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾五錢 … 廣告料 …
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 …

露國政變

▲共和政樹立？ に傾く露國民の感情

露帝の退位告諭と露都に於ける實際の形勢とが著しく相反せることは益々顯著となり來れり攝政政治を行はる可しとの想像は漸次勢力を失し今や最近の露都來電は孰れも國民の感情は首相リウォフ侯を一時元首と爲し立憲共和政治の樹立に著しく傾き居れり（紐育電報）

▲結局立憲君主政體

露國革命の前途に對する一般の觀測は一旦立憲共和政體を樹立せる後立憲君主政體に復歸するの經過を取るべしと云ふに一致しつゝあり（東京電報）

▲露皇儲薨去確報無し

露國皇太子薨去の報は未だ確報に接せず（紐育電報）

▲退位勅語讀むに堪へず

露帝退位勅語の中に『余は余の愛子と別るゝに忍びず依つて皇位を余の弟に讓る』の語あり悲慘讀むに堪へざるものあり（紐育電報）

▲極東兩將軍の監禁

平壤九踏客の談に曰く沿黑龍總督ゴンタッチ將軍及び黑龍軍管區總司令官ミスチエンコ中將は十八日ハバロフカにて監禁されたり（清津特電）

▲浦鹽の新政謳歌

浦鹽行政權警察權は新政府より市會に附與し市長ヒルマル之を掌る事となり各官衙は廳中より三名を選出し新政府より來る命令を協議の上施行し一般市民は新政府を謳歌し市中靜穩なり（清津特電）

○獨軍堅塞を棄つ 佛軍の急激前進繼續

十七日夕刻發表佛國公報に曰くアンドレー、オアズ間の前線に於て敵は戰を欲せず我軍の壓迫を蒙り遂に二年間占領し堅固に且科學的に築造せる諸陣地を拋棄せり十九日我軍は急激に前進を繼續し我斥候隊は既にロアイエに入り我軍は又ラシニーを占領し其東北より數箇の地點に於てロアイエ、ノアイヨン街道に達し且之を横ぎれり（紐育電報）

○獨休戰申込說

獨逸は聯合各國に對し休戰を申込みたりとの報傳へらる（大阪電報）

○獨艦支那海出現風說

支那海に獨艦出現したる旨の風說傳はり目下香港燈臺は消燈されつゝあり（東京電報）

○外務露都通信

露都駐在大使館と外務省間の通信は何等の支障なく行はれつゝありと（東京電報）

○上海取引所計畫

孫文の經濟方面活躍

政府より遠ざけられし孫文氏は經濟界方面に活躍せんとし上海取引所を設立せん計畫を爲し居れり該取引所は資本金五百萬圓の株式組織と爲す可しと（大阪特電）

○德川公爵著阪

德川家達公二十日來阪濟生會支部病院開院式に參列し貧民窟を視察せり（大阪特電）

◉總督臨場 專修學校卒業式

長谷川總督は武官、副官、秘書官等を隨へ二十日午前九時三十分官邸出門京城專修學校に赴き同校卒業式に臨場左の告辭を與へり

告辭

京城專修學校卒業生諸子諸子淬礪多年、以て法律經濟に關する學業を修め、出でゝ公私の業務に就かむとす、寔に賀す可きなり。

惟ふに現代の社會に處して其の任を完からしむるには、業務に忠實にして高潔なる品性と明確なる學識とを要す、諸子能く本校教育の趣旨を體し、益智德の修養に努め恪勤公に奉じ、至誠職に循ひ、以て邦家の進運に貢獻し社會の隆昌に裨補する覺悟なかる可からず。諸子其れ旃を勉めよ

◉總督告辭

二十日善隣商業學校卒業式に於て山縣政務總監の代讀せる長谷川總督の告辭左の如し

私立善隣商業學校卒業生諸子諸子本校に入りてより常に研學修德を懈らず、茲に本校所定の課程を卒へ出でて其の志す所に向はむとす、寔に慶す可きなり

惟ふに朝鮮に於ける[illegible]の決慮は

長谷川總督專修學校卒業式臨場

◉專修校卒業式

京城專修學校第十回卒業式は既記の如く二十日午前十時より同校講堂に於て擧行、長谷川總督以下宇佐美、國分兩長官、渡邊高等法院長、芳賀覆院長、城數寄、松永京畿道長官、岩本地方法院長、鄕津檢事正、豐永博士、具警務官、總督附武官、副官、秘書官、李完用伯、趙重應子、權重顯子、朴齊斌男其の他十數名の來賓あり式は君が代の合唱にはじまり勅語の捧讀、證書及び賞狀の授與を經て吾孫子校長の訓辭に次ぎ長谷川總督一場の告辭を與へ來賓の祝辭卒業生總代の答辭ありて式を閉ぢたり因に今回の卒業生は五十六名にて第一回以來の卒業生數百四十三名なりと

◉政務總監臨場

山縣政務總監は遠藤秘書官を隨へ二十日午後一時三十分總督府出門善隣商業學校卒業式に臨場の上別項卒業生に對する長谷川總督の告辭を代讀する處ありたり

◉政務總監挨拶

山縣政務總監は遠藤秘書官藤波通譯官を隨へ十九日午後三時馬車を驅りて昌德宮に伺候し親しく李王殿下に歸任の挨拶を爲し午後四時歸邸せり

◉神祠規定發布

神祠に關する規則制定せられ二十二日付府令を以て發布即日より實施の事となれり本規則は全文七條より成る神祠に非ずして公衆に參拜せしむる爲め神祇を奉祀する神祠に對し規則を定めたるものなり

◉土木主任會同

各道土木主任會同は二十二日より二十四日まで三日間總督府第二會議室に於て開會の事となれり其の日程左の如し

二十二日午前事務打合 午後長官上の講話
二十三日午前同前 午後同前
二十四日午前指示事項 午後同前

而して會同時間は毎日午前九時より午後四時までとし議場は持地土木局長之を統裁す可し

◉師範生等訪府

京城高等普通學校臨時教員養成所及び師範科生徒等五十名は二十日午前九時三十分より總督府第二會議室に參集關屋學務局長より一場の訓話ありたる後一同府內を觀覽したり

◉尾藤武官入京

滿洲駐屯軍慰問使尾藤侍從武官は二十日午前八時南大門驛着列車にて安東方面より入京巴城館に投宿せり少將は同日軍司令部を訪ひ午後七時五十分南大門驛發列車にて內地に向ふ可し

◉小原長官動靜

支那視察中の農商工部長官小原新三氏一行は十七日午前九時二十分旅順着白仁民政長官白井中將其の他の出迎を受け黑齣庶務課長宅に入り其れより民政部に長官其の他を訪問し與田秘書官の案內にて午前中工科學堂を視覽し午後は各戰蹟を巡ぐり同夜は白仁長官の催ふせる末廣亭の晚餐會に臨み十八日出發左の日程に依り沿線各地及び哈爾賓を歷訪して浦鹽港に向ひ內地を經て歸任すべし

[illegible]日[illegible]、二十日撫順、同日奉[illegible]、二十二日出[illegible]、二十[illegible]長春發、二十六日[illegible]浦鹽港に向ふ

◉京畿土地調查委員會

京畿道にては二十日午前十時より構內宣化堂に於て松永長官主裁の下に入澤第一部長今村第二部長江華郡守竹我委員其他關係職員出席地方調查委員會を開き江華島一面の土地調查に關し調查する所ありたり

◉鮮銀の新株

應募申込十萬を超過

鮮銀新株三萬株の公募狀況倒數は十九日東京支店增資係りより電報本店に到著せるが右に依れば申込受入總數は十萬二千八百九十五株にして口數四千口に上り乃ち約三倍半の率を示せしがプレミヤムは二十九圓以上の募入となるべく若し二十九圓以上を募入とし株數を超過せば抽籤若くは按分方法により其の募入數を決定すべしと

◉鮮鐵代表東上

日支連絡會議參列の爲め

日支第五回連絡會議は來る四月上旬東京鐵道院に於て開催の事は既報の如くなるが鮮鐵出席委員として三本營業課長は武內書記を隨へ十九日夜七時五十五分南大門驛發列車にて東上の途に就きたり

◉間島鮮銀開店

朝鮮銀行の間島龍井村出張所は愈々二十日より營業を開始する事となりし旨同所より本店に電報ありたり

▲中村局長出張

鮮銀檢查局長中村光吉氏は龍井村出張所開所披露を兼ね同地方經濟狀況視察の爲め一兩日中龍井村に出張すべし

◉蜷川博士と東拓

同志社大學教授法學博士蜷川新氏は今回東洋拓殖會社囑託として同社事業經營上に關する一般的調查を擔任する事となれる由なるが右に付博士は大學部の繁閑を見計らひ時々渡鮮する事となるべし

◉東拓所長退京

入京中の東拓各出張所長は十九二十の兩日本社樓上會議室にて理事各課長等と諸事務の打合せを行ひたるが二十一日より夫々歸任すべし

◉大田理事歸期

東上中の新鮮銀理事大田三郎氏は兩三日中歸京すべしと

◉佐藤博士東上

四月十二日より五日間陸軍省及び參謀本部に於て開催せらる可き軍醫部長會議出席の爲め佐藤軍々醫部長は二十日朝八時龍山發列車にて內地に向へり

◉小栗憲兵大尉負傷

春川憲兵隊鐵原分隊長小栗大尉は管內巡視中落馬負傷し十九日夜京城衛戍病院へ入院せりと

□鄭州より 中島生

洛陽一泊の後名殘を惜みて再び鄭州に向ひ蹤り候、是れより午前二時半の列車にて更に京漢線の客となり、漢口に向ひ出發すべく、只今仕度中也。原頭風強く、颺々として客舍の窓より煙塵を送り來候。 三月十三日午前一時半

△漢口より

十三日午前三時鄭州を發し漢口に向ひ申候。京漢線列車は設備相應に完全致居候。支那人ボーイは中々日本人に親切に致し吳れ愉快に候。北京附近原野に一樹一草の青きなく。洛陽附近は總てが灰色なり。信陽州邊りに來れば松あり竹あり、麥も伸び菜花も咲けり。漢口著は其日の夕刻にて、小雨風強し。到著後腰を落付ける暇もなく是れより洞庭湖を經て長沙湘潭に參るべく、今一時間の後には日清汽船の客と相成るべく候。 三月十三日夜九時

◉砲兵支廠期成會

平壤に於ける砲兵工廠支廠設置期成會は十九日午後二時より商議樓上に於て上京委員の報告會を開會したるが右委員たる松井森大橋の三氏は詳細なる報告を爲し在間行太氏會計委員を代表して會計事務報告を爲したるが會々森委員の猛烈なる質問あり古莊常任委員は會計報告は常任委員に於て一應調查したる上報告を爲すを以て至當なりと信ずと述べ結局宮川議長の注意に依り本問題は[illegible]の報告を撤回せり（平壤）

【平壤】

▲女學生兵營見學 官立平壤女子高等普通學校生徒一同は三月二十二日午後一時より步兵第七十七聯隊兵營の見學を爲すべしと

▲各學校卒業式 道內各種中等學校の卒業式日取下の如く決定せり三月二十一日午前十一時より私立光成學校同二十一日午後二時より私立崇實大學同二十二日午前十時半より私立崇實中學同二十三日午前十時より公立平壤農學校及び公立平壤高等女學校同二十三日午後一時より公立鎮南浦商工學校同二十四日午前十時より公立鎮南浦實科女學校同日午後一時より公立安州農學校而して官立高等普通學校及び女子高等普通學校は二十六日午前十時午後一時各卒業式を擧行する筈にて當日は總督府學務局長臨場すべし

【大邱】

▲大邱府協議會 大邱府にては十九日午後一時半より同樓上に於て府協議會を開く出席者加藤、朴基敦の諸氏にして竹崎大邱府尹諮問にかゝる營業稅、雜種稅中改正、市場使用條例設定其他一件は異議なく協議を了し大正六年度歲入出豫算案は協議の結果一應調查に附する事に決したるが該調查會は廿日午後一時開會す因みに豫算案は歲入經常五萬千五百九十九圓臨時二十八萬七千九百七十三圓合計三十三萬九千五百七十二圓歲出經常三萬九千六百四十六圓臨時二十九萬九千九百二十六圓餘なりと

▲大邱郵便局增築 大邱郵便局にては本館新築移轉以來郵便發送事務は庶務室に會計事務は應接室に於て執務しつゝありしが斯ては不便少なからざるを以て來る四月上旬より現局舍後方の郵便事務取扱室及び倉庫を建築する筈

▲春季種痘 大邱警察署にては天然痘豫防の爲め來る廿二日より廿五日に至る四日間府內住民一般に對し春季種痘を執行する筈なるが接種者は生後九十日以上の未種痘者、初種痘者及び種痘善感後五年を經過せしものなりと

▲武術大會 大邱東門町偕武館にては同館道場に於て來る廿二日午前十時より寒稽古納會及春季大會を開く

【仁川】

▲春暖と軟質米 暖氣加はると共に軟質米は漸次膨脹して容量增加する丈け從つて乾質品發送等の關係を生じ移出不可能となるが爲めに其の維持に堪へざる結果多くは地場精白の目的を以て賣急ぎを餘儀無くさるゝに至る可く當業者中には弗々警戒する者あり殊に露國軍需米として輸出さるゝ者多き爲め內地市場に於ける鮮米は頗る減退しつゝ有る在庫米は尙未だ二十四萬叺を算し中には軟質米の多少の變化障碍の起る者無きを保せずされば賣急ぎは當然の事にして精白輸出は蓋し免かれ難き情勢ならんと當業者は語れり

▲保育證書授與式 仁川記念幼稚園にては二十日閉園式をなし二十二日午前十時より第十五回保育證書授與式を擧行する由

人事消息

▲酒井彥藏氏（元土地調查局監査官） 二十日頃出發內地へ
▲藤田治策氏（平安南道第一部長） 廿日朝退京
▲西崎鶴太郎氏（鎮南浦商業會議所會頭） 二十日朝退京
▲池田新吉氏（實業家）▲大和乙吉氏（同） 二十日晝入京朝鮮ホテルへ
▲佐々木正太氏（慶尚南道第一部長）▲中村長五郎氏（中村組支配人） 二十日夜入京天眞樓へ投宿の筈
▲高橋牛太郎氏（慶州憲兵隊附憲兵中尉） 十九日釜山著警務部及び[illegible]
▲池田[illegible]氏（平壤保[illegible]局長技師） 十九日夜入[illegible]より釜山著直に平壤へ
▲[illegible]正男氏（鐵道院參事）[illegible]局長代理として釜山[illegible]在中なりしが十九日午後一時發列車龍山へ

逐鹿夜話

▲埼玉縣郡部候補福田又一君の選擧違反には種々の說があつたが違反の原因となつた運動員は東京の淺田飴本舗から出たことが判つたので『飴は甘いに決つて居る甘い物を食へば腹痛するのが當然だ』と反對黨連は笑つて居る相な

▲前京都選出の代議士憲政會の森田茂君が本部へ顏を出して或る室の入口に立つて居ると某政客が夫れとも知らず議論最中『森田茂の樣な陳笠は……』と陳笠々々を連發して居るので森田君溜らずなつて逃げ出したとは氣が弱い

▲東京から出た候補者の横山勝太郎君は擁護士が本職で裁判所の役人連中からは鍾馗と閻魔の綽名を頂戴して居る其の譯は何時でも判檢事に遠慮なく喰つて掛り失言は詰る不公平は突つ込む忌避はやる大概の判檢事は一度は同氏の槍玉に傷つかぬ者はない擁護士會でも時々大苦情を持ち込まれて惱まさるゝので事務員等はピク〳〵して居る海軍事件の裁判長として知られた田山裁判長など同氏に二度も忌避せられた事もあるのに今度は是非一票を横山君に投ずると云つて居る相だ閻魔になつて人に好かるゝとは妙だ

▲北田正平と云ふ人が今度東京から名乘を上げて居る此の人は父は舊自由黨幹部で名を知られた北田正董氏で姉は日本閨秀小說家の先驅薄氷女史である推薦狀には小學、中學、二高、東大、帝大學の友人計りで先輩大官の名は一つもない立候補の理由は父が代議士たらんとして幾回も落選をして死んだから父の弔合戰にやるのだと雪辱戰でなくて弔合戰は面白い滋賀縣から立てば必ず當選するのだらうとは口が惡ひ

謎の露西亞!!(三)

大露西亞を背景に、大露西亞人の打つ芝居には、一寸我々には呑込めない筋書や、科白や、場景が多い
▽▽その露西亞氣質の片影を尋ねて見る△△

♣素敵滅法な花大さ加減

―話は、今暫く大露西亞人のやり口の花大さ加減に就いて行く―露西亞では郡長や警察官などにも軍人が多く、大藏大臣、内務大臣各自みな自分の管下の兵を有つ、例へば大藏大臣は國境の脱税密輸入を防ぐ爲めに(其の實西歐羅巴から來る革命黨の通信印刷物を取締るのだが)國境軍團の

◇兵を動かす また内務大臣も司法警察の爲めに兵を使ふ―尤も軍隊の教育はいくら露西亞だつて陸軍大臣の方に廻すが―それにモ一つ聽いてくれ!!露西亞の陸軍省など來た日には素敵滅法界に大袈裟な花大なものだ。先づ日本で云ふ(庶務局の如き一局の下には九つの何々部といふのが設けてあるが、假りに砲兵部といふ日本の一課の如きものにすら

◇將官の數が 廿幾人もあつて部長の大中將の下には例の官等不同いろは順といつたやうな大中少將がゴロ〳〵して居る。そしてまた陸軍省の次官が二人で各自朝鮮の總督府ほどな大邸宅家役所を有ち官房がまた獨立した一のお役所である。而して大臣が何と云つたつて部下はめい〳〵勝手な振舞に出で鳥渡一つの協議にも日本流に『課長をよべ!!』などと

◇手ツ取早く 行くものではない斯の如くお役所の花大さ加減にかてゝ加へてスラーブ式のヌーボー式である、軍需品の注文などにもせつかちな日本人がやきもき云つても駄目なはなし、大露西亞の日は牛の涎れよりもゆる〳〵然として長いこれでは生馬の目を抜くやうな獨逸にチョイ〳〵偉大なる鼻柱をなぐられるのも止を得ざるはなし、大露西亞は何處までも偉大である

♣知事から一足飛びに總理

それに露西亞の内閣といふものがこれもスラーブ式の面白いもので、閣員はそれ〴〵首相に反對の意見を有つても差支ないのである。されば日本の如く大隈内閣がつぶれたからといつて

◇閣員全部 の總辭職するやうなことは露國などでは見られぬはなし。第一内閣組織の當初にあたつても首相が奏請して陛下の御裁可を乞ふといふやうなことはなく、各省大臣何れも兩陛下の思召によつて自由に取換へられるのである。されば露帝及び皇后陛下は仕事の上からの總理大臣ともいふべく、假令閣員中に首相反對の者があつても露西亞式では一向差支なく、内相は内相、外相は外相で、めい〳〵勝手なことを振舞ひつゝ勝手に陛下に上奏するので堪つたものではない。それで中央政府の統一は益々缺げ、政綱などは明瞭でない。その上

◇政務上に も左視右顧の狀態で、何んだか解らぬといふことになる、その他各省は各省内で部下がめい〳〵勝手に振舞ふといふ有樣でこれらも大スラーブ式である。殊に露西亞では首相のことを内閣會議議長と呼んで居るが、此のまた議長いふのが頗る貧弱な若手の人から出る。現に昨春以來組織された内閣は近回つぶされたゴルチン内閣まで四代目であるが第一のゴレムイキン内閣の首相にしても、その次のスチユールメル氏にしても、トレホフ氏にしても、ゴルチン氏にしても、何れも地方の知事が何かゝら一足飛びに内閣の

◇一椅子を 占めて居た人物で一向國民の信望もなければ名前も知られず且つまた一向腕のない人物ばかりである。

♣大學の講堂に巡査の立番

現に今度監禁されたゴルチン氏も以前は地方の知事であつた。またトレホフ氏の如きも知事出身から一度遞信大臣になり次に一躍して總理大臣になつた人、一向首相たる貫目が足らぬ。これは

◇從來の 露西亞の内閣なるものが、何れも狹い官僚の畑を限つて組織されるので、度々の政變に對してもこれに替るべき人材がないのである。現に露西亞では内閣に入るには貴族の出身でなければならぬ貴族は即ち

◇官僚派 であるから、彼等の爲めには『リチエー』と稱する貴族學校が設けられてある。(軍人はまた貴族士官學校がある)されば苟も露西亞に於て相當な地位を占めるには、文武官共に此のリチエーの出身者であらねばならぬ。それにまた假令平民や

◇百姓の 子弟がリチエーに入學するとする、彼等は到底巨萬の富を有する貴族の豪侈な生活ぶりを眞似ることすら能きぬ。とても交際が能きぬのである。また露西亞の大學といふものは官僚政府が厭々ながら設けたもので、これが無くては

◇世界の 一等國たる體面に拘はるといふところから餘儀なく學校を設るは設けた。併し大學の各講堂及び教室には佩劍いかめしき警官が臨席して苟も不穩の言動あれば直に教授も學生も監禁するのである。露國の教育ある智識階級が相踵いで

◇革命黨 になるのも怪しむに足らぬところに原因して居る、あゝ!!露西亞は遂に謎である。

●皇后の身邊危險乎

露帝は捕虜と認められ皇后と一切隔絶され皇后の身邊今や危險也(東京電報)

▲別報 露國皇帝タウリーギ王宮に幽閉せられ又皇后はキエフに送られたりとの報道に對し秘密婦人參政權運動團よりストツクホルムに達したる電報は右の説を確認せずと(東京電報)

●釜山の紳商八十名突然檢事局に召喚せらる

釜山在住の紳士紳商約八十名は突然十九日午前十時釜山地方法院檢事局に召喚せられ取調べを受けたるが其内容は過日拓殖公論社員と名乘り大島重敬外二名釜山に入込み同社發行の拓殖公論購讀名義の下に五圓又は三圓の前金を強請詐欺したること發覺し既に檢擧せられ居れるを以て其被害の取調べを爲すべく召喚せられたる由なりと(釜山)

●疾走中の水管自動車轉覆して 消防手二名負傷す=孝子洞の火事

十九日午後七時頃京城孝子洞村今同(五)方より出火したるより南大門常備消防の水管自動車を初め各消防隊鍾路警察署員等出動温突七間半を燒毀して同三十分頃鎭火せり損害約七十圓位なり然るに水管自動車は鎭火後直に歸途に就き光化門通京城專修學校前を疾驅中前方より二輪の俥進行し來るに出會したるより前車を右方に避けたるに後車が其方向に來れるより之をも避けんと急遽方向を轉換せんとしたる刹那自動車は顚覆するに至り乘組員なる青木德久(三九)山下茂三(二八)の兩消防手は大地に投げ出され青木消防手は一時人事不省に陷りたるも後蘇生し山下消防手は顏面其他に擦過傷を受けたる騷ぎに鍾路署の警官駈付け相助けて歸所せしめたるが青木消防手は目下旭町島崎醫院に入院加療中にて生命に異狀なしと因みに自動車にも少許の破損を來したりと

●大田富士の麓に新中學 初學級五十名收容=大田有志の歡び

今春から京城中學の分校として開校された大田中學校(忠淸南道)はいよ〳〵大田川の街はづれ軍隊道の七八町ばかりなる大田富士の麓に出來る敷地の一萬三千七百坪は目下頻りに地均し校舍落成まで當分教室は小學校の一部を借りることゝなつた。寄宿舍は民家を三軒ばかり借りて一時を凌ぐ筈。大田は京釜線中有數な健康地として名高く市街の地下層を河水が流れて居るから空氣の乾燥も防ぎ水も亦よろしい。新學年の生徒は總數五十名であるが大田の人々は非常なよろこび、寫眞は十八日柴崎京城中學校長を大田驛に見送る官民の有志、内藤學校組合管理者、橋本署長をはじめ學校組合の有志等である

◇寫眞は大田有志の柴崎校長見送り

●釜山中學入學許可者

釜山中學校本年入學志願者二百二十七名中[illegible]にして成績優等者は得點九十二點なりしと而して尚補缺豫備員として十名を選み四月中に缺員を生じたる[illegible]

[illegible]郎、西村一雄、嶋崎健兒、稻垣盛男、齋藤俊夫、南淵正二、[illegible]谷照夫、守山昇、佐藤宮仁、梶山勇夫、中島義雄、吉崎勘一、菊池右一、酒井龍一郎、伊集院亨、小原武夫、齋藤俊平、鮎石長兒、有馬千里、谷二郎、田村俊作、[illegible]川久、不動三男、坪野池裕、[illegible]富岡一、[illegible]、[illegible]門、星韓一、相川[illegible]、若森有美、小野靜晋、原口順、水谷義男、本莊貞介、三須[illegible]、岡本勝久、山本茂男、阿部恒夫、岡崎虎雄、[illegible]、北村寛一、[illegible]、金[illegible]、新井[illegible]、[illegible]正士、野村[illegible]

二等(廿三名)[illegible]助、久保田竹次郎、久保田正平、上田開治、檜垣孫三郎、長谷川藏、坂井敬一、村川八郎、清水谷ゆう、日高いよ、新井丈一、丸山傳次、同しげの、同孫、同正一、大西りよ子、同致夫、同とし、土[illegible]、小川[illegible]、同[illegible]

一等(四名)江副重陽、松平直平、米園人二名
二等(十八名)工藤純三、同房次、[illegible]光風、花房[illegible]之助、加藤吉太郎、同あい子、山田元吉、和田鐵三、池野敬夫、同千代、吉村民次郎、[illegible]三、工藤[illegible]、[illegible]幸三、竹崎[illegible]、[illegible]とし、長谷川

二等(三十五名)栗野[illegible]一、同[illegible]子、同季子、成富[illegible]、清水速雄、小[illegible]、原寬代造、同[illegible]子、駒田[illegible]、[illegible]治、山田[illegible]吉、岡田[illegible]正、川[illegible]助、吉田[illegible]治、[illegible]

●女學生の本社見學

春霞と共に遠足やら見學旅行の季節が來ました、京城女子高等普通學校の生徒二百名は廿日の午前職員に引率されて我が社に來り整版印刷工場を見學しました

●玄海暴る

玄海西北の風荒れ廿日朝出帆の連絡船及び貨物船は中途より引返したり(釜山電話)

●死損ねて舊惡露顯す

自殺狂と題する遺書を認め二月二十四日午後京城本町五丁目の下宿屋にて毒藥亞砒酸を仰ぎ更に小刀を以て頸部を搔き切り自殺を企てたるも死亡するに至らず其後療養の結果平癒したる石川縣江沼郡床村生れの前科二犯寺本助二(三八)は犯罪の形跡あり本町警察署にて取調べしに同人は永登浦分監を

▲滿期出獄後 仁川寺町東本願寺に收容され居る内一月三十一日同寺の現金百二十六圓を窃取逃走したる後京城に流れ込み二月八日より三日間本町二丁目の某下宿屋に氏名を詐稱して泊り込み宿料約八圓を踏倒して逃亡し尚外一箇所にても同樣宿屋を荒したる未是等の犯罪發覺を恐れ自殺を企てたるものにて自殺に用ひたる亞砒酸は旭町某醫師の

▲名義を騙り 僞造したる印章を押捺して其の買入證明書を作製して購入したるものと判明したるを以て又々裁判所送りとなれり

●廿一日は晝間送電停止

京城電氣會社にては電力需用の激增に伴ひ送電線に不足を生ずるに至りたれば今回一線路を添加する事となり其の切替工事に約一日を要するため來る二十一日を期し全線に亙り午前六時より午後六時迄晝間の送電を停止すべしと

○本能寺(水標橋通) 十八日より二十一日まで毎日午後三時より[illegible]開教師の[illegible]廿一日は[illegible]

●炭坑火災

長崎縣下松島炭坑に於て火災あり原因は漏電にて坑内探査の結果死者四十一名を發見し他の九名は尚生死不明なり(大阪特電)

●倉庫の錠前を破壞す

十八日夕刻より十九日拂曉の間に於て釜山本町四丁目貿易商橋本ふさ方の倉庫錠前を破壞し同倉庫に隣接せる釜山府瀛州洞五百七十五番地運送問屋金鏞琢の借用倉庫に忍び入り廉布約八十疋價格二百圓を窃取したる曲者あり犯人捜索中なるも未だ手掛無しと(釜山)

四錢の切手を貼つた郵便ハガキが四年も小迷つて漸く受くべき人に着いたと云ふ話しがある▲矢野通信課長が大正三年に外遊中、遞信書記の江越と云ふ人が同年十二月一日京城發信で紐育領事館氣附として矢野氏の宛名で發信した▲所が其ハガキは矢野氏の手に入らず、四年越しの去十五日大和町の矢野氏の官舍に附箋を簑のやうに負ふて着いたそうな▲漱石氏百箇日追悼會に揭げられた黑崎遞信書記揮毫の額面大の漱石肖像鉛筆畫はよく出來てゐた▲何でも黑崎氏は漱石氏の寫眞を四五十枚も比較研究し且つ漱石氏に最も親近せし矢野通信課長の意見を聞き一月以上の時日を費やしたものださうな▲其鉛筆畫は漱石氏の遺族に贈られると云ふ事である

●室蘭製鋼所の同盟罷工 三千名は作業を肯ぜず

不穩につき警戒中なり(大阪特電)

室蘭の日本製鋼所に於て同盟罷工起りたるが二十日に至り千四百名は從業せるも他の

商況

債券現物特電(東京)

二十日出來値	
東洋拓殖	六三、五〇
京城電氣	六二、〇〇
朝鮮銀行	一七六、〇〇
朝鮮瓦斯	一九、〇〇
南滿鐵道	一三八、五〇

公債直取引(東京特電)

二十日出來値	
五分特別	九五、五〇
五分利	―
一回四分	八二、二〇
二回四分	八一、二〇
甲號五分	九五、四〇

深川在米特電

二十日現在高	
内地米	二四〇、〇二九
朝鮮米	八八〇、五四〇
臺灣米	一、七五七、四一三

東京期米特電

二十日前場	五月限
寄付	六、六六
高値	六、六三
安値	六、六九
止め	六、六三

大阪株式

銘柄	拂込	十九日前場	十九日後場
宇治川水	五〇、〇〇	―	―
神戸電鐵	五〇、〇〇	―	―
京阪電鐵	五〇、〇〇	―	―
和歌山電	五〇、〇〇	六四、五〇	―
合同新紡	二五、〇〇	二三、八〇	―
鐘淵紡績	五〇、〇〇	二〇一、五〇	―
同上新株	二五、〇〇	―	―
東洋物産	二五、〇〇	二七、二〇	―
大阪商船	五〇、〇〇	―	―
日本郵船	五〇、〇〇	一九二、〇〇	―
大阪米穀	五〇、〇〇	―	―
東京新株	二五、〇〇	一〇一、九〇	―
大阪新株	二五、〇〇	一四八、〇〇	―

大阪期米特電

二十日前場	
當限寄付	一五、七五
中限寄付	一五、九四
先限寄付	一六、二九
止め	

下關期米特電

二十日前場	當限	中限	先限
寄付	一五、〇七	―	一五、六八
高値	―	一五、三六	一五、六三
安値	―	―	一五、六六
止め	一五、一〇	一五、四〇	一五、七二

雜報

●綿糸布動搖 今早朝大阪より當地二三綿布商に達したる入電に依り獨逸より聯合國に對し休戰の提議を爲せりとの事に同業者間にては三品立會の不能を報じ越し同時に取り々の噂せられしが後報には例の如く立會せり

綿糸米棉七十錢高 綿糸相場は差したる變動なし第三報によれば綿糸先物小三圓安現物七十六錢高 一圓五十錢安 五十錢安綿布 龍レ六圓五十七錢 五厘九龍六圓七十錢 鷺綾六圓二十七錢 五厘 ……尚當業者間に疑問の種となれり

●銑鐵類は躍進 印度の英國に輸出せらるゝ銑鐵類は本邦より輸出の増加を見るべく……大阪方面に於て常に現品豐富なり……該品の拂底を惹起し全國の銑鐵類の産額を増加するに至れり

●骨粉肥料好況 京畿江原、忠淸及び慶北、全北各地の牛骨は總て京城に集りて加工せられ蒸製骨粉となり更に配合されて各種の骨粉肥料となれるが内外の需用旺盛にて昨今何れも好景氣なり

果樹肥料の需用激增 ……

●内地一般に品拂底 ……

●膠の滿洲輸出 牛骨加工の副産物として生ずる膠は朝鮮唯一の工場所在地たる京城に於て年額約六千五百斤の産額あり何れも千本にて……滿洲に仕向けらるゝもの多く……

●煉乳の其後 南大門驛渡し値にて銀價の變動ある……三十四五圓

●牛肉の缺乏 市中牛肉は去る一月中値上げを行ひ朝鮮牛肉の高値を示せる後……

●皮革類好況 ……キッド ……品質次第に劣等 ……更に約十錢高

●昨今の炭界 ……内地炭の補充を要す ……

……一層沸底 ……或は品切の現象を呈す

再び値上を試みむ ……

京城正米

……少しく高直 一般に高値……

京城雜穀

……

南大門の廻穀

▲大安玄米 一四〇叺 ……

仁川現物市場

▲仁川白米 ……

釜山穀物(十八日)

▲正米(十錢安) 當地賣物少く……
▲穀入津四五百俵 ……
▲大豆入津少なし

仁川期米

二十日前場 大阪天候曇天 ……前寄十六圓二十九錢安 昨止より四錢安の入電二圓二十八錢

(利) 森仲買店

仁川港 米豆取引所仲買人 電話 ……

仁川米豆取引所

二十日の五月限

	前場
寄付	十三圓十二錢
高値	十三圓八十錢
安値	十三圓八十二錢
止め	十三圓八十九錢

市場容聞

▲依然保合 ……
▲前場の手振 ……
▲能く買ふ ……
▲疑問の問題解決 ……
▲取組高減少 ……

…校より十七名其他の釜山各小學校より…十六名京城大邱等地方より四十九名

吉也、華一、山崎致夫、安永不二男、津守强佐、山田、金小島郁郎、有松薫、黒岩勝男、藤森文爾、佐々木南男、中村正己、瀬尾清、上野公一、下見和佐太…
…口保夫、井上孝、野井光、江川男、外山三郎、江…蔭功、藤田留芳、相良三郎、柴田勇造、長島辰雄、大井義男、上村義彦、丸尾貢、行本平次郎、佐藤辞…三、古川重雄、久原熊三、山本龍男、永…

午前八時三十分釜山入港さくら丸一二等客 一等（三名）百田寅一郎、西崎鶴太郎、犬倉榮吉
三月十八日午後九時三十分釜山入港對馬丸一二等客
十九日午前九時釜山入港…一二等客 一等（四名）藤井寅太郎、中込悦策、岡塚省吾、川司總
三等（二百七十四名）

懐かしみのある友人

ドン底から研究して交際せよ

——先般京城通過歸東せし小田切前駐露大使館附武官は語りて曰く——

自分は此際特に日本の商人が對露取引に餘程愼重な態度を執られんことを警告したい特に軍需品取引に於て然りである‖此の事は自分が親しく露國の工場を視察し露國當局者の意向も聞いた上で日本の人々に警告するのであるから將來の

軍需品取引には 餘程の注意を拂はねばならぬ、猶ほ一般の露國向き商品は目下小包郵便以外に輸送の途なく靴下の如きも日本にて一足二三十錢の品が露都では六七圓の相場であるが將來歐露向きの商品は粗製濫造では見込みがない元來露國人は相當に貯金持ちであるから値段に素質が伴へばいくら不廉くとも平氣でこれを買ふのである決して南洋などの土人向きとは譯が異ふのであるから良い品物を送るがよい、併し

一朝平和克復後の 曉歐露の市場で日本品が威張ると は到底不可能である何となればお隣の獨逸から優秀な技術を以て低廉な運賃を以てドシ〳〵送られた日には とても日本品などが太刀打も能きぬ次第、邦品の勢力範圍はどうしても西比利亞及び支那を出でまい

『戰爭の代價』 次にまた目下露國の物價騰貴は實に驚くに堪へたるもので普通のネクタイ一本十五留、背廣の如きも以前私の居た時七八十留のものが只今では二百五十留である併しながらこれを食料品の暴騰に比すればまだ〳〵廉價なもので食料品は

●平時の五六倍 は確かに騰つた、現にバタの如き一フント六十哥のもの四留となり、薪代が一留三百留は要るので露國の生活は容易でない、それに國内の輸送が不自由なところから田舎に至るまで麵麭が不足砂糖が不足何れも不自由を忍ばねばならぬ、而して勞銀の不廉いとも驚くべき程で現に昨冬各部屋のめりを爲るのに一室のポテ代が五六十留要つた、これなども日本ならば一、二圓で充分なところである、猶日常のパンの如きも四五時間の間パン屋の店頭に立ちつくしてやう〳〵一片のパンを得られる譯、冬の露國では朝の九時頃夜が明けるがパン買の爲には

●五時頃から待つて 零下二十何度の戸外に立たねばならぬ、自分なども哈爾賓まで來てバタや砂糖が思ふ存分手に入つたので天國に歸つたやうに悦んだのである恁麽譯で『戰爭』の代價は恐ろしいから永い戰爭は容易に出來るものではない、よく〳〵の事でなければ干戈を動かしてはならぬのである、自分なども日本兵の歐洲行きを反對して意氣地無しのやうに思はれた一人だが飽まで國家の利害から打算せなければやつては不可い、併し我國の如きは戰意なきも何時開戰を餘儀なくせらるかも知れぬから國民は戰時に處する覺悟が大切である

♣晝と夜の時間

此れからは日が長い

短かかつた日暮も追々長くなつてだん〳〵お腹が減く様になつて來たし學校や役所に通ふ人も大分樂になつて五時頃歸宅してから悠く散歩が出來る様になつた、其處で日中の時間を驗べると二十一日が十二時間と八分で夜間が十一時間と五十二分夜と晝とが殆んど同じ時間となつた、此れを十二月二十二日の冬至に較べると日中が三時間と三十三分長くなつた理で三月十七日が夜間と晝間が僅かに二分違ひで其後は一日に二分乃至三分宛晝が長くなり夏至に至つて絶頂に達して其れ以後は又夜が長くなるのである（觀測所員談）

優等生が百五十六名

仁川尋高小學校の卒業式

愈々卒業式季節となつて仁川では商業專修學校は二十一日、商業學校は二十二日、高等女學校は二十三日、普通學校は二十五日と連日卒業修業證書授與式が擧行される

▲小學校の本年卒業 生は高等科が男四十四名女二十名尋常科男五十四名女七十七名合計百九十名で其中中等學校に入學する者は男子では中學が十三名、工業學校が四名、幼年學校が一名、商業專修學校が五名、女子では高等女學校が二十名であるから尋高全卒業生に對する約二割五分を中等學校に送つた理で、其の入學試驗成績が京城の本舞臺に於て他校に比し毫も遜色が無かつた處を見ると、スパルタ主義の職員で評判を取つた同校も父兄の意を強うせしめ得るのである、進級生は約千三百名で此の多數生徒中

▲操行が甲で學科 の平均成績が九點以上に達する者は優等生であるが其數は約百五十六名に達し皆勤賞及び精勤賞は本年度は昨夏の虎列拉騒ぎや稀有の烈寒の爲めに出席歩合率がぐつと下つて昨年の三百名に比して餘程減ずる相であるが一體に保護者の頭が進んで來た爲めか兒童の病氣缺席數や遲刻、中退等が著しく減少しつゝ有るのは慶ばしい現象である。此外に特別賞なる者があるが此れは從來成績劣等の生徒が著しく良好の成績を擧げた場合とか乃至は

▲性行に於て表賞 するに足る兒童に與ふる特別の賞で昨年の如きは三四名許りあつて其中の一人は母が無く父は朝早くから勞働に出掛け其の後に殘つたいとけない子供が弟や妹の爲めに御飯を炊き拭き掃除をした後兄弟連れ立つて登校し然も成績が不良で無かつた爲め授賞された相であるが本年も特別賞を受ける生徒が一二名はあるだらうと因に同校の生徒數は大正五年度初の調べに依れば千五百七十名

▲二十九級に達し て朝鮮に於て他に比較し得ない程の膨大なる學級を有しつゝあるが新學年開始と共に約三百數十名の新入學生があるに反し卒業生其他退校生は百名に達せないとすれば更に二學級以上を増さねばならぬのであるから校舍は狹隘を感ずるは勿論學級編成上非常の困難を感ずる相である の兒童入退學數を揭げると左の通りである

年度	入學	退學	在籍
四五年	三九六	一五三	一一八四
二年	四六二	一四二	一二四四
三年	五五九	一七七	一四〇一
四年	四七五	一九七	一四七二
五年	四月末日現在		一五六八

㊀春霞を縫ふて

樂しい面白い一週間の旅路

心ある帝國民の絶叫する日支親善、滿蒙開發の聲は時の進むに伴れ日を經るに隨つてます〳〵大きく力強くなつてゆく、此等に關する大小の印刷物は新聞に雜誌に間斷なく報ぜられて諸君の研究興味の資料になつては居る事でせうが、然かも百聞一見に如かずです纔かに江流一つ劃り隔して居る我が在鮮の內鮮人にして現實の地方の事情を實際に見聞して置くといふ事は刻下の急務として何人にも異存のあらう筈はあるまいと考へます、今回我社が陽春四月の好季を利用して組織せんとする南北滿洲視察團の計劃も即ち以上の理由を具體化した積りに外ならぬのであります、以下少しく視察團の內容に就て記して見ようと思ひます 視察團は朝鮮在住の紳士百名を標準として弘く全道から募集し團員中二名の

♣代表的名士 を以て正副團長に推し猶ほ全團員を數部に分け一部を十名とし各部員の互選で部長を選び常に主催幹部側との連絡を保つ事になつて居ります、京城出發は四月の十五日の朝、歸著は同月の二十九日でありますから一年を通じて最も氣候のいゝ時を選んだわけで同行には知合が多く

♣愉快な旅行 の出來る事は疑ひを容れぬところであります、旅行中は團員の面目を保つために汽車は往復共二等車室を借切り各地に於いて宿泊する旅館はその土地の一流の旅館を選びます、視察團の訪問地は大連及び哈爾賓の南北主要都市を主なるものとして旅順、營口、湯崗子、長春、安東縣、五龍背、奉天、撫順等でありまして此の

♣大連奉天に は各三日間哈爾賓二日間の滯在視察の外その他の各所旅行中も出來得る限り便宜を圖り且つ日程に餘裕を造ります、例へば視察半ばに南滿の勝地湯崗子の溫泉場に至り又終りに際しては山紫水明の五龍背溫泉場に各一泊し悠々旅塵を洗ひ

♣心身の疲勞 を醫する等之れでありまず、是等の視察地に於ける殖産貿易、文物制度、風俗人情を見學する外に滿洲各地の日本、支那、露國、官憲及び鮮鐵、滿鐵、東滿鐵道の各會社を始め各方面の會社銀行民間有力者に交渉して便宜を圖る事を承諾され、又目下準備

♣委員を特派 して全部の視察地を一巡せしめ團體の視察行動上に遺漏無きを期しますので個人としては到底見る事の出來ない所を視察を爲す事が出來ます、尚ほ視察團には幹部として幹部長、總務、通信、庶務會計、通譯、小使、寫眞班等十名が同行して團員の接待に勵む外

♣朝鮮鐵道局 に請ふて局員二名の同行を仰ぎ更に滿洲旅行中は滿鐵からも社員二名の出張を請ふて終始便宜を圖つて貰ふ事になつて居ります、又視察團の日々の行動は每日數回各所から長文の電報通信を發送して京城日報、每日申報紙上に報道します

㊀資産を傾けて

渡米せんとして失敗する鮮人青年

數日前ハワイで散々酷使された揚句亞米利加本國へ密航せんと企てゝ遂に朝鮮に

▲送還された鮮人 が仁川に上陸し警察署の保護を受けて郷里に十二年振りで歸つた事は讀者も記憶に新しいであらうが又復一青年が同士十數名と共に上陸を許されずして悄々仁川に上陸した名は趙秉默（二五）と言つて平壤生れの男で十二歳の時私立崇明學校に入り更らに大成中學に學び京城中央基督教青年會の英語科に入會した

▲比較的新教育を 受けた青年である淺薄な崇外思想から郷里に一人の母親を遺し四百圓を携へて上海に赴いた、此處で二三ケ月滯在の後隙ねて同行を約した漫成玉柳仁俊外二十一名の鮮人と米國の桑港に著いて二ケ月間滯在の上更らにサクラメンに轉航せんとて移民局に於て檢查を受けたが檢查の結果二十二人中九人は

▲眼疾其他の病氣 の爲めに渡航を許されず中七名は上海に上陸して勞働者の群に入り一名は神戸に趙秉默は朝鮮に何れも轗軻落魄して歸航したが、此れが爲めに趙は資財を失つて郷里に歸る肩身も狹く殊に仁川より平壤に歸る旅費さへ持たず四苦八苦の後

▲旅費丈け調達 歸郷した然るに二三日前にも一青年が神戸より入港したが之亦米國に上陸を許されなかつた者で此等は何れも青年の熱に浮る様な野心に驅られて渡米する者で何れも無けなしの家財を棒に振つた連中である

◉拾得品の競賣 京城本町警察署にては二十三日正午拾得品の保管期限滿了のものを構內にて競賣に附すべしと

神社とお寺と教會

○眞言宗鳳閣寺彼岸會（旭町一丁目）二十一日は中日なるを以て午後一時半より彼岸會大施餓鬼及び說教法席供を修行す

讀者文壇（一等には五十錢の商品券を呈す）

△物はつけ『飛び出すものは』

○前途をあやまる田舎青年（一等）　龍山元町こまつ方　岡本小草

▲とび入藝手・開いた傷口好き　京城　キサラギ

▲底値の本公人　京城　二葉

▲四段目の猪　京城　鶴

▲貴名代議士　京城　草奇

▲近火と聞いた周章者（先着）　龍山　喜久

▲足元から鳥（先著）　京城　太平坊

演藝案內

黃金館
電話二六三七　早川直營
天然色活動寫眞株式會社滿鮮一手代理店
△大正美談文明の復讐『全十八卷』▲『府山白骨事件の眞相』
△當る三月十四日より特別大興行　日頃御愛顧の御禮として特に普通料金にて御覽に供す

浪花館
明治町　電話二六〇
東京、大阪落語若手揃大一座來る
△三月二十日より每夕五時開演

壽座
京城壽町　電話五七八番

大正館
櫻井町　電話八七三
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
▲三月十六日より特別大興行
▲米國キーストン會社傑作
▲新派悲劇『片男波』（全三卷）
▲滑稽活劇『デブ君のズボン』（全二千呎）

長生の新法
小森式塗擦液
▲主効 神經性諸病、殊に神經衰弱、ヒステリー、慢性胃腸病、胸痛、リウマチス、慢性腎臟病、常習便秘、婦人病、不眠症、脚氣、生殖器病、不能症、遺尿症、病後衰弱、等頑固なる疾病の治療を希望する者
●定價 十五回分（十五瓦入）金一圓五十錢　三十回分（卅瓦入）金二圓八十錢　內地送料八錢
醫師 小森喜代三
村井弦齋先生の實驗談あり『小森式塗擦法』と題し朝日新聞記事等其他各新聞雜誌に揭載あり
東京市芝區西久保櫻川町十六番地　小森順生堂藥劑部　電話芝二七五五、振替東京三五〇七七

質
京城黃金町二丁目（永樂町停留所北入）
堀佐營業所　電話六三九番

酒煙草きらいになる藥
禁酒丸――禁煙液
嫌いになる酒煙草のみでも害なく心から
禁酒論進呈
大澤博士其他名士の
本舗 大阪西區靭南通一 森田商店

◎富豪たらんとせば讀め!!
▲金儲けの近路は現株賣買に限る
▲遠隔地の定期取引は危險である
▲現株賣買は確實安全なる營業
▲定期設置の金額で賣買出來る
▲現株で金入る方は低利で世話する也

成功者となる第一の近路は？！　▽利殖の方法を探せよ！
▽最善の利殖法とは抑々何ぞ？
▽銀行預金は迂遠である　▽諸君に勧めんとする最善方法
▽確實安全なる現株賣買
▽先づこの成金讀本を讀め！！

利殖的成金讀本
確

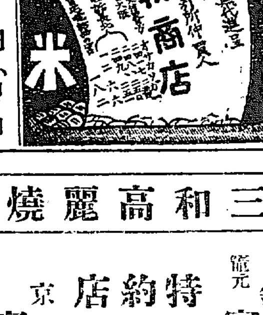
金は權力也然らば目下の問題は利殖方法の研究よりも急なる問題はなしこの編著なる解決せんとして實業家唯一の教科書にして富豪の家も讀まれる銀行家の寶典なり　十五錢郵券封入送れば進呈

客內
躊躇は成功の敵也
東京日本橋區坂本町十八番地　公債株式現物問屋
株式會社 桐生屋 店
電話浪花二一五・二二一四・二一八五・二一九〇
振替口座東京三五〇二五九番
電信略號（トウケイヤマサツキ）又へ（キ）

株式名義書換停止
來四月一日ヨリ第拾壹回定時株主總會終了當日迄株式名義書換停止致候
大正六年三月
朝鮮皮革株式會社

成功會を設置し顧客の便宜を計る

種子類販賣
一、馬鈴薯種
一、薩摩芋種
一、ツクネ芋種
一、生姜種
一、赤芽芋種
右精選品廉價に販賣可致候間多少に不拘御用命願上候
京城南米倉町市場
住竹商店
電話一七七九番　振替口座京城三元番



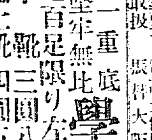
三月廿一日より向ふ四日間
會費改元金三十錢
春季撞球大會
京城南大門外
御成倶樂部

▲中風せきづい病
▲川崎自療法研究所宛 病名記入
患者自宅療法は多年此種病症の専攻…

京龍 左官業者救濟會
今般京城龍山左官業者相計り組織せし本會は同業者間の時世の要求に應ずる爲め設立したるものにて本會の目的は中に病傷若くは死亡したる場合に救濟す…
大正六年二月廿三日決議
京龍左官業者救濟會

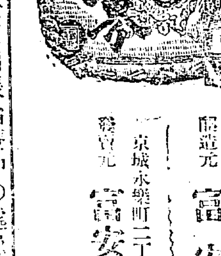
○勸業貯蓄債券賣買
並に月賦販賣
甲、…
乙、…
丙、…
京城旭町二丁目 中野商店債券部

學生靴
二重底 堅牢無比
特價販賣
三百足限り左の價額を以て
牛靴 三圓八十錢
編上靴 四圓五十錢
紀伊國屋靴店



高麗人蔘（白蔘・尾蔘・紅蔘・蔘鬚）
弊社は高麗人蔘耕作人の販賣機關にして弊社の各種提供品は純粹の高麗人蔘…
開城大和町 高麗蔘業社

優等清酒



釀造元 富安本店
發賣元 京城永樂町二丁目 富安京城出張所

昨年來當地に於て出張治療中の處患者各位の希望に依り今後一ケ月間引續き治療に從事す
痔核。痔瘻。脫肛。直腸脫。痔出血。裂痔外
京城長谷川町安東病院內
久枝肛門病專門醫院

三和高麗燒
鎭南浦 富田合資會社陶器部
特約店 仁川 瀧川商店／京城 青々園茶舖／平壤 勝坂文鮮堂／平壤 平壤物産陳列所／釜山 山崎商店
京城本町 富田出張店
三和繡手提

內科 小兒科 外科 花柳病
▲入院隨意▼
京城旭町一丁目一番地元中央婦人病院跡（朝鮮銀行前停留所より一分間）
酒井醫院
電話二五四一番

明君道中記

第九十二席　田邊南龍口演

二代將軍秀忠侯が折々田安尼公の許にお出になる、その度毎に彼のしづをお招ぎになりましたが、遂にお手が付いた、おしづは間もなく姙娠をいたしました、乃でおしづは人目を忍んでお袖に縋り『不束なる私、有難くも君のお情を頂きましてお種を宿しました』念の爲此の段を申し上げますと聞いて秀忠公は聽きまして、比企尼御殿へ來て女に手を付けたとあつては尼公に對しても相濟ず、第一他聞も宜しくないと思召した、『然し仕出かした事は仕方がございません』秀『其方懐妊をいたしたと申すが予は存知居る、然し茲に居つては相成らん故、其方の實家に戻り充分に手當をいたすやう身二つに相成つたる節は願出よ、其折は予が宜きに計ひ遣はす』と『有難き仕合に存じます、後の證據として肌付の御襦袢、守り刀、印籠の三品を下し置れました、おしづは右の三品を頂戴して病氣を申し立て下山御殿よりお暇を頂きまして神田白銀町の我家に戻つて參りました、處が親父の六わ衛門娘おしづの樣子を見ると、醫師にもかゝらず只氣分が惡いと云つてごろごろして居る　六『婆さん鳥渡此處へ來な』婆『何だね阿父さん』六『他事でもないがおしづは病氣だと云つて屋敷から歸つて來てあゝして寢たり起きたりして居るが、何うも樣子を見るに普通の病氣じやアないせ』婆『然うだね』六『俺の考へでは姙娠をして居るのだらうと思ふせ、何うも然うらしい』婆『然うかも知れないね』六『然うかも知れねじやア無ねか、男でさへ氣の付くものを女で居ながら知らねえ奴があるものか』婆『知らないものは仕方が無いぢやアないか』六『大方お屋敷で情夫でも拵へたのだらう、何うせ碌なものでやア無ね、仲間か折助と不義をして小兒を宿したのだ』婆『然う云つたつて仕方が無いじやアないか』六『全體汝が浮氣性だから娘が其の氣を受けて浮氣をするのだ』婆『オヤ阿父さん可笑なことを云ふじやアないか、妾が何時浮氣をしてたね、其麼ことを云はれると外聞が惡いから廢しておくれ』六『生意氣を云ふな此の狸婆ア』婆『狸婆アだ此のチャンギリめ』六『亭主を捉へてチャンギリとは何だ』と互ひに大聲を出して喚鳴つて居たが果は摑み合を始め大騷ぎでございます、處へ家主の八右衛門が飛で參つて仲に入り　八『コレ〱何うしたものだ、若い者じやアなしお互ひに宜い年をして夫婦喧嘩などをする奴があるものかまア俺に任せなさい』と仲裁をして其の次第を聞いて見ると、娘のおしづが姙娠をして屋敷から歸つて來た、故それが原因で喧嘩をしたとの事　八『ウン然うか、おしづ坊も利發者であるから豈夫仲間や折助と不義を働く氣遣ひは無い、何にしろ俺に任せなさい、俺が聞いて見やう』と八右衛門はおしづの居室へ來て　八『偖おしづやお前が今度病氣と云つて屋敷から歸つて來たさうだが、何うも普通の病氣ではない姙娠をして居るやうだが、聞いて見てくれと親父から頼まれて來た、成程見ればお前の息遣ひも荒く姙娠に違ひないやうだが豈夫相手の男は仲間小者でもあるまい、其の相手の男といふのは何者だ、遠慮なく俺に云ひなさい』と云はれて娘のおしづは顔を赤くし暫時差俯向いて居りましたが、傍より取出したる風呂敷包、披いて中より取出す品は高蒔繪の印籠、錦の袋に入りし短刀、肌付の御襦袢此の三品を八右衛門の前に置いて茲におしづが物語は次席に。

毛皮なめし並に仕立
鳥獸剝製調進　販賣鳥毛類高價買入れ
鳥羽毛類　毛皮　鳥獸剝製標本
京城本町二丁目　**樽元商行**
電話長二六五番　振替京城二四九九番

●全く防腐劑の入らない
日本醇良酒　廉價卸小賣
京城新町　電話九二四
田中酒造場

三月廿二日九星
舊二月廿九日癸亥　本命三碧　東納　赤口

▲三碧●　樣子扱の事有る日注意[illegible]
▲四綠●　[illegible]
▲五黄●　[illegible]
▲六白●　讓の日新事手[illegible]
▲七赤●　牛[illegible]
▲八白●　意に任かせぬ事多き日新事手控ゆべし
▲九紫●　利を〆る日[illegible]
▲一白●　めでたき日[illegible]
▲二黑●　理窟にあはぬ事有る日新事手控へ事は吉[illegible]

三月廿三日九星
舊閏二月朔日甲子　本命四綠　民　開　友引

▲四綠●　貸借主義の事有る日注意　新事見合北方は吉[illegible]
▲五黄●　建られ難儀の事有日新事手控へ事は吉[illegible]
▲六白●　不運の日[illegible]なれども新事控目の方吉[illegible]
▲七赤●　妨もなき事有る日新事手控へ事は吉[illegible]
▲八白●　前に[illegible]し切のかけ事を禁ず
▲九紫●　幸[illegible]居の日[illegible]
▲一白●　盛運の日[illegible]
▲二黑●　[illegible]婚姻大なる金融を計る[illegible]
▲三碧●　妨なし　せわ事にて[illegible]
[illegible]旭日昇天の日[illegible]で吉殊に女子の獨立業を起すに妙也

花柳病外科專門
●梅毒●痳病●淋病●泌尿生殖器病
●睾丸病●肛門病●皮膚病●
●婦人病●神經衰弱ヒステリー
●六〇六號注射包皮手術每日
子宮內膜搔派其他手術
京城南大門通農工銀行裏
司生堂醫院

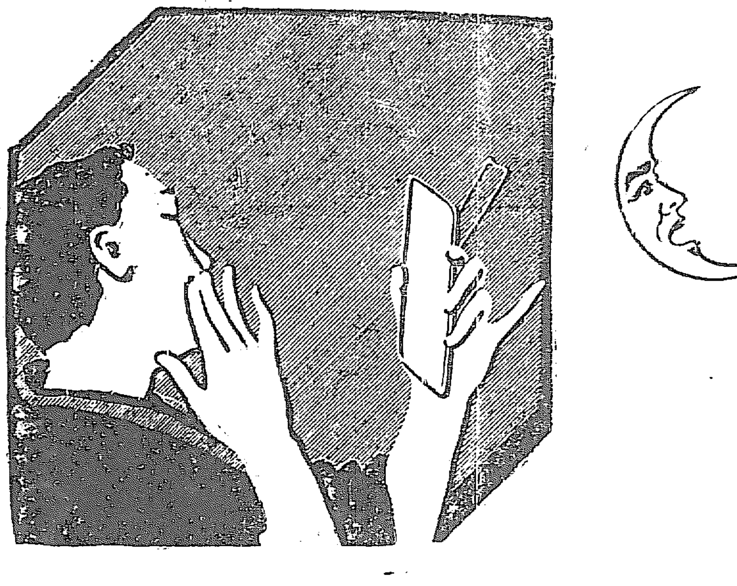
第二十七回
新學期
大日本國民中學會
小學校卒業生が中學校に入らずして中學校同樣の學力を得らるゝ中學講義錄を看よ
創立十五週年記念大特典を提供し講義錄を大刷新して新學期を開講す

■講義見本つき規則書無料進呈■

會長　正三位　尾崎行雄
學監　文學博士　遠藤隆吉
　　　理學博士　山內繁雄
學事　文部大臣　岡田良平
　　　文學博士　三宅雄二郎
顧問　法學博士　浮田和民
　　　法學博士　和田垣謙三
　　　農法博士　新渡戸稻造

創立第十五週年第廿七回新學期開講記念として此際至急入會者には入會金全免參考書進呈會費免除等の大特典の外獎學金を贈呈す至急申込あれ

東京神田駿河臺　電話本局三〇〇二番　振替東京三〇〇〇一番
大日本國民中學會



春寒の肌は
感じ易い、荒れ易い
ものですから、特に化粧衛生の爲めに、帝國陸海軍、帝國大學、赤十字病院等の御用品たる
品質本位
花王石鹼を
お勸め致します。

花王石鹼製造元 東京馬喰町 長瀨商會
花王石鹼朝鮮總代理店 大阪安土町 大崎組商會

ゴルフ
平生胃弱消化不良胃擴張溜飲胃病に苦む人は食後ゴルフ二乃至三錠を服用すれば胃病をわすれ食慾增進で全く健康となる
東京室町 三星製藥株式會社

模範
牛乳
ニウソ　石鹸　洗粉
主治醫　肥塚正太
京城蓮莱町四丁目
東亞牧場
電話五二二番

FAMILY. HOTEL
ファミリーホテル
客室 食堂 完備
市內四通八達の場所土地高燥眺望絶佳、閑靜なる閑靜の地備て西洋料理調進
食合は特に御便利に取計可申候
ミセス、ホーエル改稱ファミリーホテル
京城府大門通三
電話二二八番

林病新藥 リヨール

醫學博士藥學士理學士推奬
床賞鑑書無料贈呈
百入壹圓六拾錢
五〇入九拾錢
三〇入五拾五錢
東京日本橋川石瀬町
十一　リヨール商會
關西代理店　大阪道修町田邊五兵衛

京城日報 第三版
三月廿一日(夕刊と合せて八頁)
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介

露都政變と戰局

京城日報

露都の革命騒動は、國會の急進派が宮廷及び内閣の親獨傾嚮を喜ばず、[illegible]其首腦の方針定まらざるを怒り[illegible]と爲すより推すときは是れ畢竟敵愾心の爲めに起りたるものと云ふべし、併ながら其原因が何れにあるにせよ、交戰者は擧國一致せざるべからず、戰爭最中に其國内に革命騷動あるが如きは、吾人其友邦の爲めに深く之を遺憾とせざるべからず。

或は云ふ露都騷動の原因は、食糧缺乏、軍需品不足、戰局不進捗等の諸不平相抱合せるにありて、國民の不安心遂に此に至れりと、果して然らば其原因は甚だ單純なりと云ふを得べく、平生不取締なる露西亞の事なれば、一揆暴動は日常の茶飯事にて之を驚異するに足らずと雖も、此度の革命騷動は決して斯る單純なるものと見るを得ず、特に其事既に皇室に及び、皇帝讓位太弟攝政などいふ通信もこれ有り、國家組織の基礎を搖かすに至れるもの、如くなれば、其政局の整頓を見るは決して容易ならざるべし、去明治卅七八年戰役に際して露國に革命運動を爲すものあり其結果は露國憲法制定國會開設となりて、歐洲唯一の古專制國も此に一躍して、立憲政治に仲間入りするを得たるは寧ろ過の功名とも謂ふべく最近七八年間政治及び財政上の改良進歩、甚だ著しきものありたるは何人も倶に認むる所なり、世間禍福畢竟糾へる繩の如し、此度露國革命騷動の結果如何は唯之を今後の事實に徴するの外なきなり。

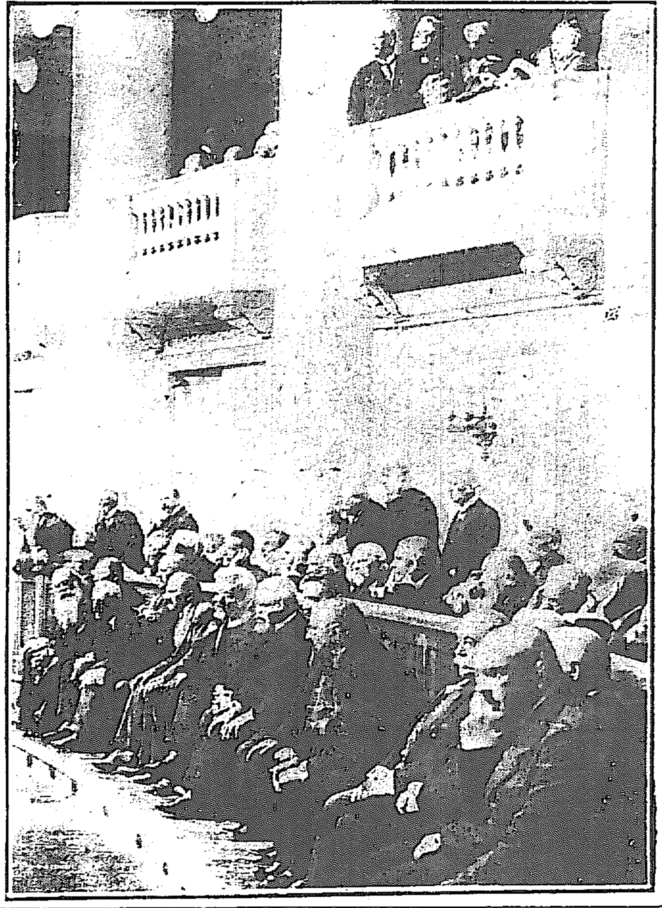
世間或は露國革命騷動甚だ重大なりと聽いて、忽ち露國は獨逸と單獨講和を爲すべし、露國は其屈して復た戰ふ能はざるべしと爲すものあり、併ながら是れ速斷に過ぐるの見なり、此度の騷動は國會の急進派即ち親英派が、宮廷及び政府の親獨傾嚮を不可なりと爲し之を排除する爲めに起れるものにして、其趣旨は大に其力を排獨に致すにあり、從來の宮廷政府豈必ずしも獨逸の爲めに操縱せらるゝものと云ふべけむや、開戰以來獨逸と闘ふて各々相當の力を致したるに相違なしと雖も、勢ひ不可なるものあり、戰局意の如くならざるもの多きは天命と云ふの外なし

皇族及び貴族にを泯するものは固より多し、皆大義親を滅するの決心を以て其事に當りたるや論なし、然れども速かに戡定の功を奏する能はずと爲して、之を非難攻擊するものあり、遂に其宿昔の交誼及び血統の詮議を事とするに至る其事穩當を缺くものあるべしと雖も亦是れ露西亞國民敵愾心の勃發せるものと謂ふを得べし、若し露國の秩序にして早に及びて回復するあらば其心力を盡くして獨逸と戰ひ、其國民的面目を全くするに務むべきなり畢竟戰役長引くときは、各種の故障其間隙に乘じて起るは人世の常なり、長期戰役に從事するものは皆此邊の覺悟なかるべからず。

露國動亂眞相

短時日にて秩序ある革命

今回の露都政變動亂に付ては本社外電の報ずる處なるも之を總括して動亂の經過及び實狀を見るに斯の如き大革命の突發にも不拘僅に少數の犧牲者を出して短時日に秩序の回復せられたるは之畢竟するに革命が秩序的に進みたるに外ならざるが如し暴動の端緒は實に三月八日にて食糧問題より露都の諸工場勞働者の同盟罷工に端を發し軍隊の一部之に加擔せしより遂に暴動となりたり八日此の罷工騷動起るや軍隊を以て市中の秩序維持に努めしめしも罷工者の示威運動は益々猛烈となりたれば首相ゴリツチンは各大臣上下兩院の正副議長縣會議長市長等を召集して食糧補給問題を議し補給は之を市參事會に一任する事となせしも尚ほ罷工は鎭靜せず越ゑて九日形勢は不穩ならんとし十日に至り遂に軍隊との小衝突を惹起したれば政府は市内に民衆の集合を禁じ夜分命に從はざるものは銃殺すべしと告示せしかば却て罷工者暴動の火の手を高めしめ翌十一日に至り兵士は群衆に向つて發砲し多數の死傷者を出し政府は就職命を下したるより形勢更に昂進せり十一日の夜の如きは其の騷動にして飲酒の自由なりしにも拘らず尚且つ一人として酒氣を帶びし者なく群集は不思議にも決して不規律の行動をなす者もなく革命に就ては何等知らざるもの、如かりきされば人民は流彈の外何等の危險をも感ぜず十二日に至り群衆に對し發砲せよとの命令下ると共に形勢は急轉直下し軍隊は却て人民の味方となり在露都の軍隊は皆罷工者に加擔し要官及び將校を狙擊し示威運動は茲に全く暴動と變じ赤旗を押し立て、市中を練り行く者多く各所を襲擊するに至れり十三日に至りても暴動は政治的革命の色彩を帶び來り下院議員等は帝都秩序維持の爲臨時委員を組織し十二名の委員を設けたるに此の時上院議員は擧げて捕へられ首相ゴリツチンは辭職を下院に通告し皇帝は此の騷動を聞かせられ大本營より歸還の途に就かせられたるも未だ歸還せられず議會特別委員會は陛下に責任内閣樹立を奏上せんとして露都を出發し一方首相以下の諸大臣は辭職を聽許せられず其儘留任の事となりしも施すべき術なく多くは革命派に捕へられたり下院特別委員會の活動は次第に目覺しく軍隊は日々に革命派に投じ十三日夜に入て全露の特別委員會の成立通告せられ陸軍大佐にして代議士たるエンゲルハルトは委員會より露都要塞司令官を委任せられ代議士ガリコフ、ブクリコフの兩人は糧食及び交通の事務を擔任せり越ゑて十四日委員會は都市の秩序維持の任に當るべき旨を通告し下院議長の名を以て各艦隊司令官軍司令官大本營參謀等に革命の始末を通じ主戰論を主張せり而して極力秩序維持に當りたる下院委員會は其の効を奏し十四日以來日々に秩序を回復せり要するに今回の革命が秩序よく行はれ且つ短時日にて完成せられ流血を見ること最も少かりし點は革命史上未曾有の事に屬すべし



緊張せる露國議會の傍聽席—最近到著寫眞—

何を眞の成功といふ

(三)(青年實業家修養會に於ける講話) 山縣五十雄

一體金といふものは有難いものであるには相違ないが、三カク法を行ひ、罪を犯して迄も澤山取らねばならぬ程に貴重なものであるか、金の第一の効力は我々の物質的の慾望を充たすことである。然し人間の慾望は無限であつて、一を充たせば必ず他に又いくつも現はれて來る。兩三日前當地へ來られた山本唯三郎といふ成金先生が、京城日報記者に話された處で見ると、金持も儘の聲を聞かなければと、言はれたそうだ。私の如き貧乏人になると、一萬圓も金があれば澤山のやうに思ふが、それが無いので、欲しい〳〵と思つてゐる。欲しい〳〵と思ふ慾望は山本氏も、山縣も同じである、慾望の點からいへば同じく貧乏で、或は山縣の方が慾望は少いかも知れぬ。即ち山縣の方が金持であるかも知れぬ。それから慾望なるものは之を滿たすまでが樂みであることは、諸君の何人も經驗されたる所であらう。例へば私の如き者にとりて、第一の樂は良書を得るにあるのであるが、昔て在京中俸給の少かりし時、丸善の階上に行きて良き書を發見し、之を欲するの念切にして、殆ど萬引をもなしたく思ふ位なりし、後之を手に入れんと苦心した樂みは又格別であつた。今日私は大抵の書はそう困らずに買ふことが出來る樣になつたが、往時の樂みは無くなつたのである。

富は之を追ふに總てを費す程に難有きものではない。佛國の電氣學者にエドワード・ブラレリーといふ人がある。私はブラレリーでも決してブラリとしてゐる人ではない。此人は無線電信に關する有益なる發明を遂げて、名聲嘖々たる人である曾て高給で技師長として或會社へ招聘されたことがあつたが、直に之を辭退した。その理由は『余は今一つの實驗に從事してゐる。有難味のない然も多くの時日を要する實驗である。元來無線電信に就ては我々は既に其事實を知り、既に實用に供して居る。然し其原理については何の知識も有つて居ない。余は之を研究しやうと思ふのである、人は短命充分に一つの原理を研究して了り得る程の歳月に富んでゐない。此貴重な時間を黄金を集むる樣なつまらぬ仕事に費してたまるものか』といふのであつた、今の世人の目から見れば、愚なる樣である然し斯樣な人があるから世界の文明は進歩するのである富を作ることばかりを目的とする人ばかりならば、世界は進まぬ。カント、ニュートンの如き、クリスト、孔子の如き、其の有したる財産を以て見れば、京城の中村栞に如かざること遙かである。然も何人か中村栞を以て此等の哲人に優るといふ人があるか富に縁深き諸君に向ひて富に縁遠き私から、かゝる御話をするのは、或は治安妨害であるかも知れぬ。然し私は、正しき富を貶すのではない諸君が、諸君の任務を、誠實に盡した其の報酬として諸君の身に集り來る富は天の賜物として誇るに足るものである。かくて集る富は多々益々可なり。大に集りたる時は、何時にても之を使用する任務は、私が喜んで引受け申すであらう(完)

未曾有の滯貨

哈爾賓財界の近狀

哈爾賓の金融界に付其筋の調査を聞くに輸出側は一月末哈市と長春間の

△貨車配給 幾分順調に向ひたるも二月下旬に入り浦鹽行き輸送の一時中止されたる爲め東清線のみの微弱なる輸送力にては大豆のみにても二十六萬噸以上の滯貨あれば到底輸出商は新規買附見送り勝ちのため更に資金の需要を喚起するものな〜一方輸入側は貨物停滯のため幾分爲替決濟資金を要したるも大勢依然軟弱裡に越月せり今後輸出界は東清線の順調と浦鹽行き輸送の再開を俟つに非ざれば依然商況不振を免れざるべく他方輸入界も亦鐵道輸送難の爲め一般手控への模樣なれば當分金融界は活況を呈せざるべし而して輸出大豆豆粕等の滯貨は實に未曾有の巨額に上り市中の滯貨のみにても恰も十八萬噸而して之に

△東清沿線 の滯貨約十五萬噸を加ふれば在貨實に三十餘萬噸を算す特産物の市況は一に輸送力の如何によるものなれば浦鹽行き輸送の中止は市價をして益々低落せしめ一般の氣配軟弱たるを免れず輸入側も亦西伯利亞沿線の滯貨夥しく加ふるに市中の在庫品亦相當巨額に上れると一方露國行小包郵便取扱停止等のため市況概して閑散なり

日報詩壇

○雪中郊行 坂上怡庵

飄然曳杖板橋邊。兩岸瓊花一麗妍。滿目皚皚都淨盡。畫中山對畫中川。

評曰 畫中人賦畫中詩

○送高田小芥東歸 古城 梅溪

君似遷喬出谷鶯。東風千里上歸程。卜居最好梅花地。欲試春吟第一聲。

評曰 余亦送君詩中、有應對白鷗催一笑、大江春漲小梅村句、錄供一粲

庵主風邪にこやせり ─五の日十の日會吟─

○春の夜の枕頭つゞまやか語りす 句平

○大火鉢にいつもの火冴返るかな 木廊

○ヘブリンが利いて來る春の夜の風暴 烏堂

▲全く能く買ふ

▲現物界

賣買取組高

蘇峰 德富猪一郎著 最新刊

大正政局史論

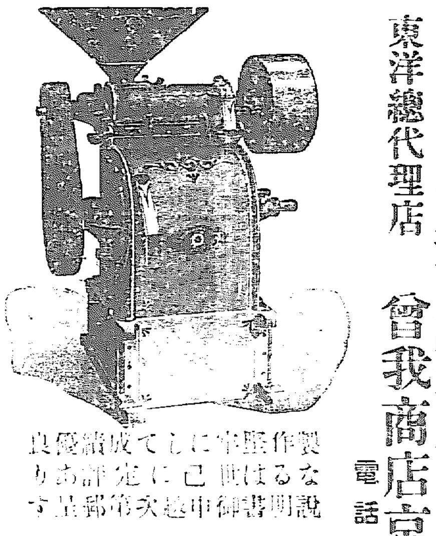
解散後に於ける政界の燈明と國民の羅針盤を推奬す

嗟呼解散は遂に來れり。借問す政局の前途に對する朝野政客の準備如何、日本國民の覺悟如何。時勢に順應せんとする選良は、如何なる方針に基いて立脚の地を作らんとする乎。我が國民は如何なる自覺を以て、如何なる人物を選擧せんとする乎。此の兩者に指導を與ふ可きもの、本書以外に之れ無し。本書は大正政局の過去を知るのみならず、從て現在を知り、併せて未來の進路を指斷す 眞に刻下必讀の書也

發行所 民友社 定價 貳圓 郵税 金十二錢

賣捌所 京城日報社代理部

エンゲルバルグ精米機 第一號製磨キ觸付



製作堅牢にして成績優良なるは世已に定評あり
說明書御申越次第郵呈す

米國紐育州シラキウ市 エンゲルバルグ精穀機械會社

東洋總代理店 京城南大門通五丁目 會我商店京城出張所 電話長二一六八番

營業科目

エンゲルバルグ最新式精米機各種 精米研磨機 粉末製造機 穀類用製粉機 肥料用粉碎機 籾摺攪拌機 馬力發動機 機械及汽罐 其他諸機械 並附屬品各種 精米研磨布

法學博士 仁井田益太郎先生著

親族法相續法論

全部改版—訂正出づ

全一册 有斐閣

露國政變

▲露國革命經過

皇帝讓位の詔勅
皇太子即位宣言

三月十六日以後に於ける確實なる報道に基く露國政變其後の經過大要左の如し(東京特電)

十四日新內閣成立以來更に砲兵及び自衛團陸軍大學在京近衛騎兵全部續々革命派に加入し露都の兵力は殆んど革命派に加擔し又皇族に於ても大公キリル殿下は自ら議會に赴きて宣誓せられ冬宮は終に革命派の占領するところと爲りたり革命擾亂は鎭靜せんとしつゝあるを以て下院臨時委員會は市民に對し目下外敵を控ふるの際國內の秩序を維持する事必要なるを以て軍隊は國體を定むる憲法議會を召集する迄委員會の權力を是認せる旨の布告を發したり尙各地方に委員會成立の次第を通報したるに莫斯科ハタコフ市等の如きは右委員會の成立及び權限を承認せる旨通知あり十五日委員會は各派の領袖を網羅し新內閣を組織せり當日新首相(全露地方會聯合會長)リヴオーフ公は下院議長と連署して新內閣の政綱(既報の通り)を發表せるが革命の有力者ミリコフ氏は委員會に於て皇帝は其位を辭し給ふを以て先づ皇太子を即位せしめ皇弟ミハイロ大公を攝政と爲すの外無く國體は憲法議會の召集を俟て決定せらるべきに就き夫れ迄は下院臨時委員會の權力を認めざる可からざる旨を力說せり同日又プスコフに滯在せらるゝ皇帝は讓位の詔勅を發せられたり其要旨に曰く『國民の激昂に依る波瀾の發生が此の困難なる戰爭を更に永引しむる虞あるも露國の運命軍隊の名譽國民の幸福の爲めには最後の勝利を得る迄力戰を繼續するを要す而して今日此の國步困難の時に當り國民をして戰勝の目的を達するに必死の努力を爲さしむる爲め朕は議會と協議の上帝位を去り主權を辭するを適當なりと認む云々』十六日皇弟ミハイロ大公も亦露都に於て宣言を公表し議會に於ける國民一致の推戴に依る迄帝位に即かざるを宣べさせられたるが其要旨は『余が兄は未曾有の大戰及び國家大波瀾の秋に際し皇位を余に讓りて重任を負はしめたり讓位の事若し我國民一致の意嚮ならんには敢て此の重任を辭せざる可し』斯の如く革命成就の結果臨時委員會は政權を掌握し假政府を組織し皇帝又位を皇弟に讓りて時局の速かに收拾されん事を希望せられたるに依り這回の政變は一先づ玆に一段落を告げたりと認むる事を要す

▲露國新政府の電告

露國新政府は在外代表者に對し左の如き電報を發したり(露都電報)

露國に於ける最近の政變は舊爲政者の無能及び先見の不明並に絕望的權力の亂用等に依り激發されたる國家的憤慨に基くものなり雖冷靜沈著なる民衆の感情に依り之れが危機を短縮するを得其結果未曾有の政變の割に最小犧牲者を出すに留まり民衆と軍隊と革命旗の下に步調を一にするに至れり

◎討伐軍新民府派遣

張督軍は十九日附を以て第五十三旅長陽玉麟氏を免職し第五十四旅長孫烈臣氏を討伐總司令官とし討伐軍を新民府に派遣せるが共際町野顧問も同行せり尙陽氏は十九日午後七時馮麟閣氏と共に出迎の爲め來れる第二十八師の張第五十五旅長と共に部下を率ゐて逃走せり我が居留民は十九日領事分舘及び郵便局に引揚げ居りしが同夜奉天より巡査二十五名を同地に派遣したるを以て一般に平穩なり(奉天特電)

◎英軍敵攻圍隊を壓迫

十八日夕ヘイグ將軍の公報に依れば英軍はネスル、シヤウルネ及びペロンヌを占領し獨軍攻圍隊を壓迫して二十四時間內にシヤウルネ南方よりアラス附近に亙る戰線四十五哩の間にて數哩の進出を爲したるが其最も深く進出せるは十哩に及べり(倫敦電報)

◎定例閣議開會

定例閣議は二十日午前十時三十分より內閣に於て開會仲小路、勝田、加藤の三相を除き寺內首相以下各大臣出席本野外相は露國革命動亂の顚末經過に就き詳細に說明し後、後藤岡田兩相より地方視察の狀況を報告し終つて左の件に就き協議決定し一時散會せり(東京特電)

一、精神病者看護法を樺太に施行の件
一、理化學を研究する公益法人の國庫補助に關する法律施行の勅令(二十六日より施行)
一、戰時海上法保障の爲めに要する國庫剩餘金支出の件

◎樞府副議長 親任

既報の如く芳川顯正伯辭任御聽許の結果二十日午前十時三十分宮中御座所に於て寺內首相侍立し司侍從長列立の如く樞府副議長親任式を行はせられたり(東京特電)

任樞密院副議長 樞密顧問官正二位勳一等子爵 清浦奎吾

依願免本官 樞密院副議長伯爵 芳川顯正

新任樞密院副議長 清浦子

樞府副議長を辭任せし芳川伯

◎芳川伯授章

長き迄にては二十日樞密院副議長を辭したる芳川伯多年の功勞を思し召され特に左の通り勳章下授の御沙汰ありたり(東京特電)

授旭日桐花大綬章 正二位勳一等伯爵 芳川顯正

◎鮮銀間島出張所

朝鮮銀行間島出張所は二十日開店せるが鮮人支那人の爲替取組先、營業方法等を問合せ來る者相踵ぎ頗る盛況を呈せり(間島特電)

◎物價大勢保合

騰貴一方の傾向革まる

京城重要物資の其筋調査二月中に於ける商品の物價狀況を聞くに之れを前月に比し稍々強氣を見るも大勢は保合の狀態にあり乃ち騰貴十二品低落八品保合十一品を示し之れを品別に示せば左の如し

▲騰貴 大麥、大豆、小豆、綿花、鹽、繰綿、松薪、炭、綿絲、和金巾、支那紬、金物
▲低落 小麥、明太、牛皮、牛脂、精糖、醬油、鷄卵、マツチ
▲保合 玄米及糯米、葉煙草、木綿紙、酒、ビール、石油、石炭、木材、洋紙

▲騰貴各品

例によつて騰落狀況を示せば▲大麥 大麥は前月同樣産地減收のため入荷更になく本品拂底を告げ引續き市價上昇一方なり▲大豆及小豆 大豆は內地相場依然引立たざる折なりしも京城は在荷薄のため却つて石十錢方の跳ね返しを見せ小豆は入荷乏しき所へ舊正月以後引續き相當小口の需要ありしかば之亦強氣にかへり少許の騰貴を示したり▲鹽 輸入の不足と石炭の暴騰とは本品の市價を強氣に導きたるのみならず本年は稀有の嚴寒なりしため在來鹽の製造に大打擊を與へ且つ目先き春季の需要を控へ居る事とて玆許漸騰の氣配を免れず▲松薪及木炭 昨年來各地の滯貨に因る入荷薄にて加ふるに奥地の大降雪は山出しの不足を生じ燃焼品不足に付市價は上騰一方なりき然し月末稍下折れ氣味なりき▲綿絲 月の初め米獨國交斷絕による米棉相場の暴落より大氣迷ひの狀を呈しつゝも適に需要季に近き丈け常に強味ある保合を傳へたる勢ひを來し大阪相場の漸騰となり當地に於ては之れに連れ稍後高値を現はす▲和金巾 前月迄の調を辿りし本品も市況棉絲に連れ相場漸騰月末二十反一梱百六十三圓となれり▲金物 前月末本國高に伴れ一部突飛値を現はせしが其後各品共強氣一方となり洋釘を初め鐵浪平板等殊の外高値を呼び折柄の閑散季にも拘はらず買人氣を煽り一方大阪方面に於いても一部品拂底を示し氣配高調に傾けり

▲低落八品

▲明太 從來高値なりしも釜山元山方面に於ける生市魚の豐漁に押され氣味にて一駄三圓方落ちたり▲牛皮 前月迄は內地品騰を訴へ居りしも其後京阪地方當業者の手持品漸く品揃ひとなり一方には軍需品注文未決定のため弱材料ありし傍々下足を辿る▲砂糖 砂糖近頃買行き鈍き割りに入荷多し一部亂賣をなす向などあり百斤四十五六錢方の落を示せり▲石油 從來強氣一方に押寄せたる關東陸地も近來商狀鈍狀となり從つて京城の市價も氣崩れ下旬に至り小擔一丁五十錢方値下げせり▲打綿 賣行時期を逸りたる市價は幾分下押しの氣味なれども原稿高に伴れ底固き商狀にあり▲マツチ 前月來稍軟調に傾むきたる矢先き甚だ不振にして阪神地方も氣迷ひにて中々遂に低落を續けたり

▲保合各品

保合各品中玄米及精米は內地相場不味にて朝鮮相場も動かず松板は貨車不足と需要薄のため又石油は一時米獨國交斷絕のため思惑買ひありしも其後居すはりたるため市價の變動なし石炭は入荷一時に增加せしと最盛需要期を過ぎしため上昇の見を控きたりと

◎在米激增と期米觀

三月限發會後強弱の腰入深甚となりたるより市場の人氣は以つて仁川米界の關ヶ原と視せられ頗る趣味を以て注視せられたるに然るに時日は追々推移し四月限生れ又五月限生るに至つて双方の戰線は延長せられたるが遂に買方の主力筋賀田と賣方の重鎭たりし鳥居と聯合するに至り

▲玆に買方の活躍

する處となり去る本月三日後場に於て當十三圓十二錢中十三圓三十四錢と迄煽りたるが日曜明け五日前場立會前に至り取引所は突然當中兩限の新規賣買を停止して今日に延びたり然るに停止後解合說起りたるも双方の主張に間隔あり一時不調に終りたるが熱心なる天日常次郎氏の斡旋にて十八日の日曜日に解合談成立したりとの事又已に解合は以前に成立し居りたるも秘密に附せられたりとの說あり其何れが眞なるや知る能はざるも十九日前場引後に至りて取引所へ附け出したると解停したるは常時貫紙の報道に依つて

▲既に明瞭なるが

是より先き當中停止すると共に勢ひ五月限に戰線を延長し來り聯合軍の買煽る處となり八日午前には十三圓四十三錢と上伸し後場大激戰を演出したる等其後の成行も貫紙の詳報する處然るに聯合軍と賣方主力筋と提携し賣り捲したるより急轉直下の大暴落となり一時反動高を示したるも大體に於て買方聯合軍は當中に多大の買玉を擁し騎虎の勢ひ先限にも大玉を買ひたるが意外にも正米の蒐集困難を豫期したるに事實は之に反し何處よりともなく蒐集し來りたる正米は仁川港頭に堆積し其數十五日の取調べに依り約二十五萬に上り

▲尙日々增加せん

形勢にて今や三十萬を數ふるに至りたり當限一部の解合成立したりと雖も尙表裏合して四五萬石の大受渡しを豫想せられ中限尙大取組ありて賣方は既に渡し米準備成れりと揚言し居れり斯る次第にて更らに多數の回著あらんとする形勢なれば買方は之を如何に處分せんとするか今後が見物にて然も變質期を控へて割高の大受米は恰も石を抱いて淵に臨むと何等選む處なきやに思はるゝも買方は有名の賀田に鳥居の聯合なる以上何等かの成算あるならん殊に露國軍需品として輸出する原料米なりとは

▲買方の常套說に

して果して斯る大石數を加工精搗するには如何なる方法を採るなるか兎も角仁川定期取引市場の前途は大堆積米は自然定期の錘となつて或は伸縮みとなり又或時は暴落の素因となるには非ざるなき乎と語れる者あり果して如何記して徴する外なきのみ(仁川支局)

◎學校組合會議案

京城學校組合にては二十二日より商業會議所樓上に於て組合議員會議を開催し左の議案を附議すべしと

一、大正六年度學校組合豫算
一、學校組合授業料及び保育料徴收規則中改正の件
一、學校組合給與規則中改正の件
一、左記學校幼稚園六年度補助の件

京城技藝學校 一千二百圓
私立門外幼稚園 一百圓
私立龍山幼稚園 一百圓
私立新龍山幼稚園 一百圓

一、大正六年度豫算定額中の支出に充つる爲め百圓に付日步二錢二厘以內の利子にて一萬圓以內の範圍にて借入金をなすの件
一、組合事務取扱銀行(京城銀行)と契約締結の件

◎前田正名氏通過期

貴族院議員前田正名氏は近く朝鮮經由露國視察の途に就く旨其筋に通報ありたり

◎卒業式

▲東洋協會植民學校京城分校にては來る二十五日午前十時半第十回卒業生に對する卒業證書授與式擧行▲淑明女子高等普通學校にては來る二十三日午後一時第八回並に普通學校第六回卒業證書授與式擧行▲私立培花女學校 二十三日午後八時より宗橋禮拜堂にて高等科第六回卒業式擧行

◎新學校組合設置

總督府にては今回平安南道价川郡外西面見里龍里三補里を其の區域とする軍隅里學校組合の設置を許可せり

◎仁川會第四例會

曾つて仁川に居住し京城に轉住せるものに依りて組織せられたる仁川會は來る二十四日午後三時より花月に於て第四例會を開催する筈なるが當日は仁川よりも有志多數來會し同五時より懇親會に移る計畫にして例の如く盛會ならん會費は金三圓五十錢當日持參すべしとの事入會申込は當番幹事古城管堂、遠藤達、藤木利右衛門、天日常次郎、喜多宗一五氏の內何れへなりとも隨意なりと

人事消息

▲野口次郎三氏(農務課技師) 十九日附江原道平康郡及び淮陽郡管內に出張を命ぜらる
▲倉浦治太郎氏(水產課技師) 同日附全北全州及び群山、平北泰川郡へ
▲向坂龍三郎氏(水原模範場技師) 二十日夜入京浦尾へ
▲富田勇氏(司稅局廣梁灣出張所長) 同上
▲末松四郎氏(奈川守備隊長) 同上
▲中村辰五郎氏(中村組支配人) 同上天長樓へ
▲池田新吉氏(實業家)▲大柳乙吉氏(同) 二十一日朝退京の筈
▲十時英三郎氏(陸軍少佐) 同上
▲神崎三一氏(元山發祭署長) 同上
▲大澤藤三郎氏(群山商業會議所會頭) 同上

南言北語

今度の革命に就て露國人の言ひ分が面白い▲今回の革命には獨逸よりの煽動說があつたのは事實らしい▲其の結果は全く獨逸の豫期とは正反對になつたので獨逸は大當外れだ▲だが露國に取つては大に幸福である▲獨逸は始め民業を煽動し政府に壓迫を加へさせ其間に露陸の上下を引つ掻き廻す魂膽だつた▲處が革命は豫想外に成功したから今頃獨逸ではオヤ〳〵其の樣な筈ぢやなかつたと云つて居るのだらう▲而うして見ると今度の露國革命は獨逸の賜である其のお禮には大砲の彈をウンと喰はせば好い▲ワルソーなども早速お厩汁をつけて返して來るかも知れない▲某將官の話に前年夏期快走船で露都の冬宮下を通つて居たら▲大學生が突然大聲で今に見ろこの宮殿も吾々の校舍にして見せると豪語して居たが今度は果して革命派に占領せられた▲露國の革命騷動と大學生はつきものだから此の動亂にも大分大學生が加擔した事だらう▲例の鍊子夫人の父君芳川顯正伯に對しては誰人も同情する者が中には皆を寄せ詩歌を以て伯を慰問する人も多い相だ▲其の中で青淵末松子爵の贈つた詩は『江山欲泣夕陽過、鶯殺人間恨事多、縱使春風吹萬木、奈君無限暗愁何』▲越山伯之に次韻して曰く『悲風慘雨幾經過、孰與銷魂斷愧多、曖膝不及殊庭訓、空仰蒼旻喚奈何』▲近來何處でも俳句が大流行とあつて和田垣博士も俳人になつた相な▲洒落な博士の事だから面白い奇抜なのが多く其內お自慢のは▲『春の夜はくらきものなり梨の花』をだてけり巢立ちしてけり呆れけり▲俳號は『吐雲』▲吐雲とは即ち『ク、モ吐く』と云ふ洒落だとは何處迄も和田垣式だ

□定例休刊

二十一日は春季皇靈祭に付き當日發行の夕刊并に翌二十二日の朝刊は定例休刊とす

復活せる有樂館
三月廿一日より開館

天然色活動寫眞株式會社滿鮮一手代理店早川演藝部は今回有樂館を買取し外觀の美內容の充實とを併せ牛島シネマ界に覇を唱へんとす

當る三月廿一日より

▲特別大興行

▽觀覽料
一等席 大人金三十錢
二等席 大人金二十錢
三等席 大人金十錢
軍人、學生、子供各等半額

△お伽劇 魔法ランプ

生々しい社會劇 百萬圓
連鎖實演 大團圓の場

青年立志談!!大正五年十一月に於ける事實 市公會堂に百萬圓を寄附し貪慾なる天下幾百の大富豪をアッと言はせたる國家的快男子 岩本榮之助の一代記

演藝部辯士 主任 南郷公利 松井峯聲 宮城晴美 水谷重太郎 櫻狂風 藤田麗月 瀧廉バンカラ 木下米子 立花日出子 村松八重子 花田智惠子

泰西軍事大活劇 ローズ中尉 洋劇主任 薄田半曉 獨演

此の神は地球の大部分を修羅の巷と化せり兇暴なる獨軍中に吶入し殊勳を樹てし英國青年將校ローズ中尉の奮鬪を見よ!

教育參考 日本史劇 大蛇太郎 全五卷

足利持氏時代の面影を彷彿として偲はしむ學窓に於ける一ヶ年の歷史はタッタ二時間にて教授せらる……百聞一見不若?

來れ!見よ!! 盛飾せる有樂館を!

天然色活動寫眞株式會社滿鮮一手代理店 早川演藝部直營 有樂館 電話 階上專用 五九七番 階下專用 二〇五番

▲一二等席の御客樣へ御用の方は、電話五九七番へ願ひます
▲三等席の御客樣こ有樂館へ御用の方は電話二〇五番へ願ひます

二十一日日本女子音樂學校卒業記念演奏會に於てオルガン獨奏を爲すべき朝鮮婦人朴鍾愛（三三）といふものあ……

●……立高等女學校にては二十二日午前十時第九回卒業生に對する卒業證書授……

……顧書を提出すべしと

●龍山の野球戰 廿一日午前……ある由

……鬼會を擧行し……の外早川鐵巖、阪上治庵居士の講演……

……室にて府協議會を開き諮問案第二……十三號金庫事務取扱開始に關する

……公立第五尋常小學校にて……午前十時より同第二尋常小學校にて

……車田篤氏は十八日……市內を巡視し……十九日は釜山……

……後六時より料亭鳴戶本店に招待し盛大なる晩餐會を開催▲津江兵庫祭……

……山兵庫の春季例祭は廿一日……所在地たる古館公園に於て……執行の筈なるが餘興として素人角力生花等種々の催しある由

侍從武官尾藤陸軍少將

●活氣の溢れてゐる 滿洲在留の邦人

支那婦人が續々日本小學校に入る 滿洲と支那の研究に努めよ

侍從武官 尾藤陸軍少將の談

侍從武官尾藤陸軍少將は滿洲駐屯軍及び獨立守備隊御慰問の御沙汰を承け滿洲視察の途廿日入京巴城館に投宿せり其の談に曰く

聖旨を承けて予は二月二十二日東京を發し二十六日大連著旅順、營口、遼陽大石橋奉天撫順鐵嶺長春安東等の各部隊の視察を遂げ遼陽に於て三月十日の記念日を祝したが

◆何れも士氣旺盛

衞生狀態も極めて良好であつた滿鮮駐屯各隊の軍狀御下問は大抵一年一二回宛にて其の都度御下賜品のある事も例年の通りである、殊に今年は駐滿第十七師團が交代する事に成つて居るから其の交代出發以前に御下問せらる事に成つたので例年よりも時期を早めた次第と推察する朝鮮は日露戰役當時に通過した後一度も來た事が無いから其の後の變り方も見たし又總督軍司令官に敬意を表する爲めに京城へ一日滯在する事になつたが朝鮮の進化の度の意外に速かなるに驚いた、滿洲各地は唯に軍隊ばかりでなく

◆在留の日本人は

頗る元氣旺盛である、殊に撫順、營口、長春等の活氣は非常のもので、皆なの顏に元氣が溢れて居る滿洲に居る內地人を見て居つて朝鮮に來ると皆な活氣に乏しいやうだ近頃は滿洲各地に於て日本人と支那人との間は非常に圓滿であつて日本で經營して居る旅順大連奉天等の各學堂は非常の多數の

◆支那人學生入學

希望者が有つて到底悉く收容する事が能きないとの事である又彼の因循な支那の婦女子迄が近來は進んで日本の學堂に學び日本語習得の成績は男學生よりも非常に好いとの事である、日本人の小學校及び中學校專門學校等の設備も內地に劣らぬ立派のものであり又學生は非常に元氣旺盛である

◆貴社で滿洲視察

團を組織して居るとの事であるが大いに結構な企てゞある、今後日本人は盛んに支那を研究し實地を視察し支那人を理解し大いに親善を期せなければ成らぬ云々

●優等生三名に記念賞牌を授く

山縣政務總監善隣商業卒業式に臨塲

善隣商業學校の卒業式は二十日午後二時より若葉町同校講堂にて擧行せられたり今年の卒業生は本科第一部（內地人）三十名同第二部（朝鮮人）三十四名夜學專修科（內地人）三十八名夜學高等科二十四名の多數に達せるが定刻に先ち

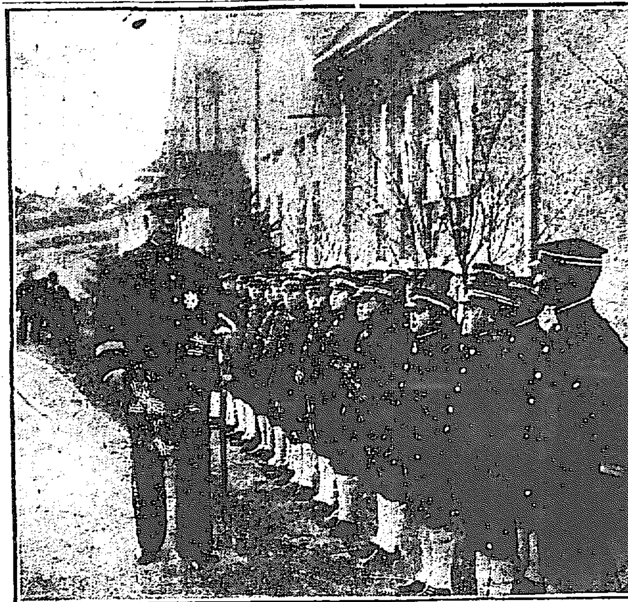
◆山縣政務總監 は遠藤秘書官を隨へ自動車にて臨場貴賓室に入り續いて松永道長官、關屋學務局長、金谷京城府尹、山口電氣會社取締役、新野三井物産支店長、吾孫子……の各學校長朝鮮側より白完爀……高等普通學校長其他內鮮有志新聞記者生徒父兄參集卒業生在學生一同着席し生徒父兄

◆來賓一同着席 の後政務總監は本宿校長の案內にて臨塲せる式塲には前總督の揮毫に成る「進德修業」の額及び創立者大倉男の肖像を揭げ式卓の右方には校旗を立てたり校長擧式の旨を宣し全員起立の裡に「君が代」を奉唱し

◆敎育勅語捧讀 を爲し詳細なる學事報告あり次で卒業證書の授與式あり次で第一部優等卒業生林……一部優等卒業生中村寛一同第二部優等卒業生三澤與平の三名並に在學三箇年間一回の遲刻早引缺席なき富田佐忠外四名の精勤者及び二個年精勤者二名、一箇年間精勤者二十名に教育奬勵部下賜金記念賞牌の授與を終り本宿校長は卒業生一同に對して

◆簡單なる訓示 を爲し大倉男署名の處世訓を卒業生一同に授與し終るや關屋學務局長は同校監事の資格を以て一塲の訓示を爲せり斯くて山縣政務總監は壇に登て總督の……

◆來賓一同を代表し 松永道長官の祝辭朗讀あり高野三井物産支店長は……の祝辭を述べ優等生三名には各其部科の卒業生を代表して答辭を朗讀し式を終りたるが別室にて茶菓の饗應ありたる後記念撮影を爲せり



善隣商業學校卒業式に臨塲せる山縣政務總監

●雜誌發行を種の 詐欺師三人組

三重縣北牟婁郡三野瀨村生れの大島重敬（三三）は門司市に本社を置く拓殖公論社主幹なりと自稱し昨年十一月十三日釜山に來り愛知縣中島郡萩原町生れ釜山本町四丁目居住の鶴岡康範（二七）及び同居中なる岡山縣川上郡千住村生れの大塚憲惠（三二）の兩名を社員なりと隨行せしめ三名にて拓殖公論なる雜誌を經營し月三回の發行を爲すを以て其の廣告料金及び雜誌の購讀勸誘名義にて其々釜山、京城、仁川、群山等を徘徊し各所にて一人より二圓乃至十圓位を集金し合計二百數十圓を徵收したる後一先づ門司に引揚げたるも豫約の雜誌は一回だに發行せず件の金員は悉く消費したる後再度渡鮮して馬山に到り前の拓殖公論は計畫失敗したるを以て此度は拓殖通信社を開設するに付廣告等出金に應じ吳れよと勸誘し殊に携へたる帳簿には其の土地一流の名士の姓名を冒用し『金十圓也支拂濟』等の文字を記入し詐欺手段を以て馬山にて百八十七圓餘を募集したるも相變らず通信は發行せず三名にて消費したる爲め此程何れも馬山警察署の手に捕はれ取調べの上檢事局へ送られたり

▽▽麗々と春の日浴びて

長閑な滿洲平野を陸から北へ

……我社主催滿洲視察團の愉快にして有益な行程

奉天には十六日の午前五時二十分に著きます旅館に就いて朝風呂に浴し食後、午前中自由行動を取る事に成ります團員諸君は或は商工業の視察を或は名所古跡を尋ねて永き春日の傾き易きを怨む事でせう

♣奉天は滿洲の主都

人口三十餘萬を有し東三省の政治經濟の中心地であり我國とは最も深い干繫を持つて居ります奉天は清朝愛親覺羅氏發祥の都として今に壯麗なる宮殿が殘つて居ります奉天總督衙門には滿洲の名物將軍張作霖が居ります北陵は清の太宗皇帝の寢陵にして千古の老樹蓊鬱たる間に紅楝碧瓦相映し石馬石象

♣往時の隆昌を語て

居ります此の外東陵及び小河沿の庭地日露會戰の戰跡、殷盛なる市街等想像以上のもので有りませう、奉天には約三千の內地の人が居住して居ります奉天驛は滿鐵幹線の中央停車塲として規模壯大にして內地三都の停車塲に劣らざるものがあります、猶奉天には各種の製造工塲喇嘛寺日支兩國の學堂、公園等見るべき處が澤山あります、午後三時四十分に奉天を發して營口に向ひます途中列車の中から

♣遼陽の白塔を望み

首山堡に橘中佐の英靈を弔ひ午後八時三十分營口に著します營口は遼河の河口に在り滿洲物資の呑吐口であります奧地から戎克に依つて運搬されて來る大豆が海河の沿岸に山積さる其の幾千萬石なるを知らざる洪量に一驚を催される事でありませう遼河以西を遼西と稱し河の東を遼東と申します古來幾多の家國が此の

♣河流を挾んで攻防

成敗した面白い歷史に富んで居ります、營口は滿洲貿易を研究するには好都合の處であります、營口に一泊し翌日午前營口を發し途中大石橋の戰跡を覗ながら大連に向ひます同日午後大連に著き先づ緩る／＼と旅裝を解きて疲を休め翌日から二日間市中の視察を致します大連は露國が東洋の策源地として雄大なる規模の下に

♣十數億の鉅資を投

じて建設した都市であります日露戰役後關東都督府及び滿鐵の手に依つて更に幾層の修築を經て今や東洋有數の開港塲となつて居ります市街の清潔なる事建築物の壯美せる事東洋唯一の都會と稱せられて居る滿鐵本社を初め東洋第一の機關工塲

♣其他滿鐵の經營す

る各種の事業就て見るべきもの甚だ多く殊に市の東西公園其他各公園は歐風の森林に富んでゐます

●野も山も春めいて

今日の祭日を何處に遊びませう

「暑いも寒いも彼岸まで──」といふ彼岸も已に中日となつて世はいよ／＼春めいて來た、彼岸日和の暖かさに下萠の草の色も綠增して

▽柳曳く霞 を吸うて芽を吹く柳、春の調べを紋やかに奏でゝ流るゝ小川のせゝらぎ、霞の中の大空を我が物顏に飛び交ふてゐる揚雲雀など四門の外の郊野には新らしい裝ひを凝らした春が慶々とした大きな懷ろを擴げて訪ひ寄る人を待つてゐる譯より先きに若くはない

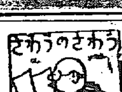
▽春の自然 に憧れやうとする人は今日の旗日を郊外へお出なさい、清涼里楊柳の並木は淡綠に煙つて陵墓の附近の潺湲なる細流には目高が躍つて驛前の掛茶屋などは緋の毛氈を布いてビールシトロンなどの招き旗さへ揭げられました南山から

▽漢陽公園 にかけての谷間には消え殘る雪の塊りがありますけれども山の中腹の木の間から遙かに市中を見下ろせば淡い霞の中に市中が浮き出してゐるのや白く光る漢江の川面を孕み帆の舟が辷つてゆくのも見ねます、此處の掛茶屋には附きの赤前垂の小娘たちが「お憩みなされませ」と軒每に

▽涼しい聲 に呼び立てるのも春らしい心もちに誘はれる一つではありませんか、融々たる水を訪ねて漢江に行くもよく、遙々仁川へ下つて洋々たる春の海の渇容に接するのもいゝでせう、市の內外の植物園は李王職秘苑のを始め埋末の

▽植物園を 訪ねてゆけば其處には已に華麗な春の花が魁してゐます、銃取る人は獵期も餘すところ少なになつた、今年の思ひ出に鐵道沿線に遠征を試みるのも面白いでせう、早春の行樂は郊外へ出る事をお勸めします、市中では

▽活動寫眞 の常設館開塲もあり、夜になれば落語や活動なども盛んにあり各宗のお寺には彼岸會もあります



露西亞では人の名をよぶに其の父の名の下にウイチをつけて呼ぶ慣習がある▲例へば楠正行はマサツラ、マサシゲウイチと呼ぶが如し▲それで近回攝政となられるとか噂される前露帝の弟君ミハイル大公はお父樣の歷山三世（一八九四年崩）の名をとつてミハイル、アレキサンドロウイチと呼ばせらる▲ついでに露西亞の今日ではどうしてもニコライ、ニコライウイチ大公が偉いといふのは▲大公は前露帝から三代目むかしのニコライ一世（一八五五年崩）から分れた家で歷山第二世の皇弟を父とせられ前露帝の大叔父に當らせ給ふからである▲然らば前露帝の皇弟たるミハイロ大公がなぜ出られぬかと云へば殿下は實にモルガン結婚者の一人として皇位繼承權をすてられた方だからである▲因にモルガン結婚とは主權者の家族が主權者に非ざる者の家族と結婚する─即ち枕金結婚をいふ▲野田大塊翁から妙心寺の瑞巖老師への手紙に曰く「このうち鎌倉月舩寺の三寶舍建立の爲め宗演老師出京▲早川千吉郎君のところへドン踞られると三時間にして六萬圓集り申し候」▲朝鮮も今に賑やかに相成り申すべく……と妙心寺には出し相で出し相もないおたより▲さすがの瑞巖老師もかばやきの匂ひを嗅がされた許りでは濟されまい

小生儀都合上當地引上可申候條債權者は來本月廿五日迄請求相成度此段謹告仕候也 仁川宮町瓢舘前 古物商 楠本文治郎

東國名山記 純漢文全一冊 定價金八十錢 本書は朝鮮內の名山に付簡明に記述したる珍書を翻刻し同好者に分ちたる殘部約百部を廣く希望者に分たんとするもの也 京城鐘路三丁目 發賣所 廣學書舖 振替口座京城八一六番 金相萬

玩具一式卸商 京城南大門市場 振替京城三四〇四番 伊東商店

京日案內 普通一回前金五十錢 番外一回前金（匿名一回毎に拾錢增し） ▲申込後中途揭載中止の節は前金返戾せず ▲六回以上の御申込は特に割引す ▲御照會は返信料添付にあらざれば回答せず ▲御照會の節は必ず數字の番號御記入をふ

自轉車職人二三名入用希望者至急來談あれ 南大門通二丁目 ミノヤ自轉車店 電二三七三番 699

乳母急傭入たし但し產後五ヶ月以內の者希望の方は御來談あれ 太平町二電六九八番 更科支店 712

配達人數名至急募集人來談あれ但し市中確實なる保證人を要す 明治町三丁目町田新聞部 715

女髮結弟子十五六七歲位の者至急入用望の方は午後五時より御來談乞ふ 京城本町一丁目きね屋小間物店へ

融通 月收の御方へ極秘迅速簡易立替御報伺又は御來談 京城大和町三の三二（柄驛前）起本屋 711

古本と古樂器買受と立替は是非共一度 電話三五七振三三一 本町ウツボヤへ 692

百圓內外の資金にて即日より金儲の仕事あり希望者來れ好機逸する勿れ 京城壽町西近江屋下宿屋方 山崎 705

女外務員二名入用希望者は履歷書携帶本人來談あれ市內に保證人要す 舟橋町一五〇平山牛乳店横 野本 710

古本熱心高價買入▲御報參上 是非御試賣を乞ふ▲本町四 電話二七八一番▲書肆群書堂 631

有望事業讓渡たし 姓名在社 170

店員入用 十五才より二十才迄普通教育を了たる者履歷書添へ保證人を要す 仁川 白神洋行 703

店員入用 十三四歲にして本年小學校を卒業し成績表持參來る三十日迄に本人來談あれ 京城黃金町三 山田文殊堂藥房 601

サウス ツキモンド號 京城南大門通二丁目 電話二八九三番 振替京城三四〇六番 清水自轉車店 650

◎生徒募集（年齢十四歲以上） 各科共新學期開始、卒業後從希望本社女教師に採用す（規則書贈呈） 黃金町二丁目シンガー裁縫刺繡院 714

諸官廳 朝鮮受驗講義錄 一組七冊一圓九十錢送料十二錢 京城旭町二丁目 朝鮮雜誌社內 朝鮮斯文學會 716

恩給年金立替 即時取引退隱料一切千圓以上別契約 京城櫻井町（大正舘向）元祖 博多屋本店 641

外務社員採用 年齢二十五歲以上の者履歷書携帶午後四時迄來談月收五十圓以上 黃金町一の六〇 國民興產會社出張所 704

每月一回發行 滿鮮評論 定價一部金廿五錢 郵税二錢 一ヶ年十二部前金三圓 社長大垣丈夫每號執筆、其他諸名士の論說錦上更に花を添ゆ趣味津々。投書歡迎 京城太平通二丁目一〇二 電話八七一五番 滿鮮評論社

旅行用具一切 ◆鞄製造（お好みにより如何樣にも調製可仕候） ◆柳製 專賣品トランク ◆洋傘（本年流行新荷著）各種 ●其他雨具ゴム引マント 魔法瓶及中瓶取替 京城本町一丁目 高木旅行用具店 電話一三四番

醇良清酒

仁川本町三丁目 增本酒店 電話一〇九番 振替京城六一九番

可鍛鑄物 鋼鑄物 腐鋼（御望の寸法に應じ致候） ◎眞鍮、砲金、アルミニユム、鼠銑等鑄物 ◎アルミニユム接合 京城古市町三十七番地 京城自働車工塲 電話九六五番

◀種物廉價販賣▶ 各位益々御清榮奉賀候陳ば弊店儀例年の通り最良種各種物取寄破格の廉價を以て販賣し特に多數の御注文に對しては御相談致候間多少に不拘御注文願上候 尚遠地は振替にて御注文次第早速御送附申上候

產地	品名	等級	單位	價格
長崎物	赤馬鈴薯	特等品	百斤に付	三圓五十錢以上
同	同	一等品	百斤に付	三圓廿五錢以上
同	同	二等品	百斤に付	三圓以上
廣島物	白馬鈴薯	特等品アルロース	百斤に付	四圓二十錢以上
本塲物	源氏甘藷	特等品	百斤に付	二圓五十錢以上
同	赤目芋	特等品	百斤に付	四圓以上
同	白芽里芋	特等品	百斤に付	三圓以上
同	百合根	特等品	一貫に付	一圓三十錢以上
同	丸細芋	特等品	一貫に付	七十五錢以上
同	山芋芽	特等品	百本に付	七十錢以上
同	生姜	特等品	百斤に付	四圓以上
地物	山芋芽	特等品	百本に付	三十錢以上

內外生果青物問屋 京城旭町一丁目市塲 佐々江商店 電話二四一六 振替京城二六〇六

グラス萬年筆 朝鮮總代理店（目錄送呈） 京城本町二丁目 釘本藤次郎本店 電話四五〇・二七七四 振替京城二五六 特約店 京城本町二丁目 町田商店

營業品目 肥料部 蒸製骨粉、乾血、蹄角粉 星印配合肥料、細工用地骨 細工用蹄角各種膠及膠原料 石鹼部 化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼 牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹達

京城東大門外紅葉町 朝鮮肥料製造所 電話二六三五番

京城岡崎町一四番地 朝日石鹼製造所 電話二五六〇 電話九七〇三 振替口座京城〇〇四

怒濤の月

小林蹴月作 武内桂舟畫

百十三

籠抜け『廿二』の二

近所の三河屋と云ふ酒店の電話を借りて憲吉は、母の命令通り、松崎の居る桑原の事務所へ呼出しをかけた。と、一時間ほど爲てから、松崎は俥を飛ばして、お久の家へ駈け付けて來たのである。

『松崎さん、お忙しい中を誠に濟みませんでしたね。お蔭で怪我の方も大變快復しましたから喜んで下さいまし』とお久は自分の手で顏の繃帯を取り除けて見せながら言つた。

『實に飛んでもねえ災難でしたね。併し命に別状のなかつたのは、何よりの僥倖と云ふもんです。所でお久さん絹代さんの在所は、その後分りましたかな』

松崎は、相變らず如才のない白ばくれたやうな顏を爲て訊ねた。

『分つたんですよ、松崎さん、今貴方をお呼び立てしたのも、實はその事の御相談なんですが……』

『はツ、絹代さんの居所が分りましたツて。其奴は耳よりの話ですね、矢張何ですか、彼の銀さんとか云ふ極道の手元にでも居るんですかね？』

『什うしまして貴方、銀さんの畜生は妾をあんな目に遭はした天罰で、疾くの昔に逐電して了つたらしいんですが、行掛けの駄賃にたしか、絹代を欺くらかして、十二階下の白首屋へ賣りとかして行つたものと見ゑますよ』

お久は、斯う云ふ前提の下に、我が子の憲吉から聞いた前夜來の概略を語つて、

『然う云ふ事情なんですからね。松崎さん、貴方が本統に彼の絹代に心からの思召しがお有りなさるんなら今日のお正午までに五十圓のお金を立て替へて、幸三郎に鼻を明かして遣つて下さいましよ。お使者には、恰度憲吉の奴が遊んで居ますから、雜作もありや爲ないんですがね』と吹き込むやうに賴むやうに、やんわりと持掛けたのである。

『は、はア、お正午までに五十圓……』と松崎は、金ぴかの時計を出して、鳥渡小首を傾むけたが

『五十圓の金位は、何でもないけれども、憲吉さんの手口で絹代さんを旨く引張出して來るのは險呑ぢやありませんかな』

『松崎さん、大丈夫ですよ、僕が幸ちやんに依賴されたやうな顏を爲て行けば、白首屋の主婦も乾度信用するに違ひありませんし、義姉さんだツても豈夫に僕が嘘を吐いて連れ出しに來たとは思ひますまい』

憲吉は、側からこまちやくれた顏をして此腕を見て呉れとのやうに嘴を挾んだ。

『いや、お前さんがその意氣なら、間違ひはないでせう。それぢや十二時前と云つても、もう二時間しかありませんから、全速力で絹代さんを迎へに行つて貰ひませうかね』

松崎は、流石にお久の內所手だけあつて、此の憲吉と云ふ小僧もなかなか隅には置けぬ代物であると、腹の中で感心しながら、五十圓の金と別に幾干かの運動費を與へて

『それは然うとお久さん、御子息の頓智で、まんまと絹代さんを白首屋から取返した所で、突然此家へ連れて來ると云つたら反つて絹代さんに疑惑を起さしめるやうなもんでせうか何處か一日二日の所を他に知らさんやうに埋けて置く場所がありさうなもんですな』

『成程ね、それも大きに然うで御座いますね』

お久も、少時胸を抑へて考へ込んだのであるが、差當り何處と云ふ場所も思ひ付かない。

『では仕方がないから、斯う爲ませう。僕の知己の女髪結で、千束町の猿之助横町に長く住んでるのが有りますから、其處へ一先づ絹代さんを預ける事に……』

『千束町なら直側なんですから、萬事が樂で好う御座いますわね。憲吉それぢやお前能く番地や何かをお聞きして行かなきや不可ませんよ』

『なに、僕が名刺に譯を書いて上げるから、それを持つてきや好いんです、それから日暮過ぎにでもなつたら僕が乾度出掛けて行きますからと次手に傳言しといて下さい』

『委細承知しました』と憲吉は、小躍り爲ながら、飛び出して行つた。

宮內省御用達 最上清酢
登錄商標 MARUKAN
品質及釀造高日本第一也
美味滋養に於て日本第一也
京城太平通二丁目
日本醬油株式會社京城出張所
電話二四五番

●海外片々

▲獨逸教員の戰死者 此程普魯西の文部大臣が議會の文部委員會の席上に於て發表する所に據るに開戰以來小學校教員で戰死したものは一萬九百五十人に達したるが是れは全部女教員で補充したとある

▲獨逸皇儲の戰史 ヴエルダン攻撃に大味噌を附け神經衰弱に陷り暫らくポツダム宮殿で靜養して居つた獨逸皇太子は其の間に西部戰に關する戰史の著述に著手したが其大部分は例のヴエルダン戰史ださうでこれは戰爭終つて後發行するとのことである皇太子のヴエルダン戰史は定めて呼物となるであらう

▲睡眠二十九箇月 佛蘭西のマルヌの戰爭で負傷したジヤツクスレイマンと呼ぶ一兵士は其以來深き睡眠に陷り未だに覺醒しない其間實に二箇年と五箇月今度ペリギユー病院から巴里に送つて其道の大家の診察を受けた此頃では流動體の食物を攝つた後に寢返る所を見ると或は近い內に目が覺めるかも知れぬと云つて居る

▲露軍の捕虜と戰利品 昨年中露軍の捕へたる捕虜數は將校八千七百七十人下士卒四十二萬人で戰利品は砲五百二十五門、マキシム砲一千六百六十一門と塹壕臼砲並びに地雷擲射砲四百二十一門でブルシロフ將軍が三百哩の前線に亙つて三箇月間戰つて鹵獲した所のものは右の八割以上を占めて居ると云ふのでブルシロフ將軍の活動振りは頗る評判だと云ふ

回公州山城吟社句錄（二月二十日例會）

接穗して靜に土を離れけり 友萍
初雷や海月靜に流れけり 同
紅白の衣藏つ家や燕の巣 同
初雷や雲雀の籠の房搖る丶 空堂
相思なりし紅白の椿接木哉 同
初雷や沖より歸る鰯舟 桂川
就中高き梢や鵲の巣 未刀
春曉の馬に糧やる桶の音 奇石
初雷や沖に動かぬ舟一つ 如雪
初雷や搖きの輕き池の渦 多摩子
橋影の折れ込む庭の蜆かな 可舟
春曉や我におもねる絹蒲團 不醉
春曉や船室に人熟睡して 一佛
初雷や胸毛をたて丶龍の鳥 方外
島の巣に一本松の月夜かな 悠々
農銜令講師に侑む蜆汁 神岳
接木して仰げば雨脚迫り飛 水圖
カナリヤの巢籠る春の小雨哉 光晉
沼々と落つる瀑布や小島の巣 同

新刊紹介

▲黒潮（三月號） 井上兩博士、犬養、頭、濱口、江木各議員其他の現政局に關する時論及鑛税と信仰との心理（和辻哲郎）屍られたる黒き力（白鳥省吾）赤木桁平等の外上司小劍、芥川龍之介、岩野泡鳴の創作を收む（三十錢東京市麴町區內幸町一ノ五太陽通信社）

▲少年（臨時増刊初陣號） 斯くの如き投書は必ず合迎す及天狗岩探檢、敵に立つ矢、兄を尋ねて、次郎の彼勤等小說童に特別附錄正行の初陣を附す（特價二十錢東京市時事新報社）

▲瑞穂（創刊號） 島本赤彦、與謝野晶子、若山牧水、前田夕暮、尾上柴舟、窪田空穂其他の文壇流行兒を網羅し詩歌小品を主とせる月刊文藝雜誌（二十五錢東京市神田區表猿樂町一ノ三其社）

▲極東時報（一ノ六） 露國と羅都、巴里から見たる手紙、女の一念、佛國學士院及朝鮮西比よりの六を收む（十八錢東京市京橋區築地明石町三ノ二其社）

▲新聞の新聞（三月號） 國家の一票、解散と總選擧と政府の責任其他の政事に關するもの及び識者の眼、美人論叢、女學校生活の裏面等（二十五錢東京市麴町區有樂町一の三其社）

▲文學界（創刊號） 村上浪六主幹にして論議の敍述なると趣味の饒多なるとは該詩文の雜誌として推讃に値すべし（二十錢東京市本郷區上富士前町一三其社）

▲青年文壇（三月號） 作物に就ての課題の研究（文壇十家）新小說作法（田山花袋）等の外論文散文、書簡文、長詩年俳句十題を收む（十二錢東京市牛込區新築町一の一東亞堂）

▲都會及農村（三月號） 農村の女子教育、村長物語、江戸時代の地方行政、農民の政治的自覺、米人の見たる日本の結婚等（十五錢東京市麴町區平河町五の三六洛陽堂）

▲地方行政（三月號） 地方當局者の心得（水野錬太郎）農村振興と產業組合（石田傳吉）都鄙の隔絶と流通策（櫻井兵五郎）等（十五錢東京市京橋區加賀町九其會）

▲ニコ〱（三月號） 昔の酒癖（佐々博士）須磨子、染子、天勝、兒玉花外文士の妻君（花村月次）及び文壇選擧の前日小說狂ひ咲等（二十錢東京市麴町區有樂町三の三其倶樂部）

況

大阪三品特電
七月限 一八〇・九〇 一八〇・四〇
八月限 一八〇・四〇 一八〇・二〇

大阪期米（二十日）

仁川期米
高値 安値 正
一五・四二 一五・七五
一五・三九 一五・六六
一五・三九 一五・七〇

▲不動氣乘り薄 大阪の小豆は...

▲瓊組更に減少 ...

▲彼岸相場如何 古來言ひ傳ふ彼岸天井とか彼岸底とかの說を爲す者あり...

物品購買公告

一、順化院納入精米參拾壹石

此入札保證金ハ各自入札金高ノ百分ノ五以上

入札者ハ京城府內ニ於テ國税、地方費、府税、學校組合費年額貳拾圓以上ヲ納ムル者ニシテ壹年以上斯業ニ從事スル者ニ限ル

右ハ大正五年六月六日京城府條例第二號ニ依リ入札ニ附ス希望ノ者ハ本府會計係ニ就キ委細照合ノ上三月廿三日午後二時限リ同會計係ニ入札スヘシ即時開札ス

此契約ハ朝鮮總督府京城府尹金谷充擔任ス

大正六年三月十七日 京城府

物品購買公告

一、順化院食糧品醬油外百二十點

此入札保證金ハ各自入札金高ノ百分ノ五以上

入札者ハ京城府內ニ於テ國税、地方費、府税、學校組合費年額貳拾圓以上ヲ納ムル者ニシテ一年以上斯業ニ從事スル者ニ限ル

右ハ大正五年六月六日京城府條例第二號ニ依リ入札ニ附ス希望ノ者ハ本府會計係ニ就キ內譯明細書等熟覽ノ上三月貳拾參日午前拾壹時限リ同會計係ニ入札スヘシ即時開札ス

此契約ハ朝鮮總督府京城府尹金谷充擔任ス

大正六年參月拾六日 京城府

生徒募集

本科生 百名
專修科生 三十名
撰科生 若干名

本科は尋常小學卒業以上の素養ある女子に裁縫を主として脩身、國語（講讀、作文、習字）手藝（刺繍、造花、生花、茶之湯）洗濯等を授く（脩業年限三ヶ年、月謝一圓五十錢）
專修科は裁縫を主として手藝を授く（脩業年限一ヶ年、月謝一圓五十錢）
撰科は裁縫及手藝中一科を授く（月謝一圓）
遠路の者には舍內に寄宿舍の設あり教師監督す

京城三角町九一（朝鮮商業銀行裏） 實修裁縫學舍 電話二八二七番

大口歡迎 質
京城黃金町長橋町入 電話二九一六番
擔保便利取扱商品 田村質店

亞鉛鑛、銀鉛鑛、銅鑛、鐵鑛。右の鑛種に對し鑛區買入（許可鑛區 先願權）
鑛業經營資金、融通、鑛物買入
猶實地調査の都合有之候間御希望の方は至急御申込み被下度候
京城明治町一丁目七番地 正己鑛業所 主任 熊谷忠直 電話一五九番

りん病 ばい毒
本藥は殺菌力强大にして些の副作用なく急性慢性淋病及び各種梅毒性諸疾患に服用し最も安全迅速に治療の目的を達す
一週分 梅毒 普通 金壹圓二十錢 特製 金貳圓 痳病 普通 金壹圓 特製 金貳圓五拾錢
京城永樂町二丁目交番北 ドラッグ商會 滿鮮本部

御內意に依り謹製したる 純白 美顏洗粉

◈高貴方の御不自由

皆樣御承知の歐洲の戰亂が長びいて、舶來品輸入の途が塞りましたに就て、其向々でお困りの方が少くありません。中にも化粧品が來なくなつたのには不便を感ぜられる方が多く、殊に從來西洋品をお用ひになつて居られた高貴方の御不自由はまた一通りでありませんでしたが、內國製品使用獎勵の聲が起つてから、先づ上の方々から其れを御實行のお積りで、段々と御檢査の後、日本製品の中で優良なものも現れましたのは大に喜ぶべき事でありますが、從來佛蘭西製の洗粉を御賞美になつて居られた高貴方の思召として、或筋から弊舖へ誠に有難い御內意が傳達されました。

◈有難き御內意

其れは完全な研究の機關のある美顏白粉本舖で、佛蘭西製の洗粉と變らぬ洗粉を新製しては如何かといふ御注文の意味の籠つた御內意です。弊舖では意外な光榮に感激して進んで御受しましたが、それには餘程研究を積まねばなりませんから兎に角相當な御猶豫を願つておきまして、研究試驗部に於て顧問丹波、山本二博士、主任技師桃谷、小磯、齋藤の三藥學士の智識を捧げ、苦心研究數箇月にして、漸う是れならばと自信のある洗粉が出來上がりましたので、早速御試用を願ひましたところ、幸ひにも非常にお氣に召されたので、其後引續き御誂へに應じて調製して居りました其洗粉を、此度愈々廣く世に發賣する事に致したのがこの美顏洗粉なのです。

◈大家 美容術 ルウ井ズ孃

今東京で、始終高貴の方々の美顏術と御化粧方とに召される名譽ある美容術の大家マリー、ルツキズ孃は故國佛蘭西の巴里美顏術學校を卒業して日本へ來られ其の科學的智識と天才的技術とを以て、次第に高貴の方々を始め貴婦人紳士の間に御信用を博した方ですが、此方も高貴方の御用を勤めるにつけて、美顏術上の御用に特殊な材料はそれ〲御自分で調劑されますが、一般の化粧品をお用ひの段になりますと矢張輸入杜絶以來誠に困つて居られたのですが、美顏洗粉が出來てからは、非常に喜ばれ、美顏術に美顏洗粉を用ひられるやうになりました。

◈何處が違ふか？

美顏洗粉は普通の洗粉と違ひ、皮膚の滿洗劑と共に蛋白質、中性脂肪分、及び最近桃谷研究試驗部で發見完成した美容上最も有効な植物性の粘液素、次に清白作用と言つて皮膚の新陳代謝の作用を活潑にし、段々と垢ヌケするやうにする作用の極く盛な原料、斯ういふものを適度に配合して製へた品ですから、其効果も皮膚を洗ひ淨めるばかりでなく、皮膚を柔かに滑らかにし、美しい光澤を添へ、容貌の美しさを增し、更に續けて使へば次第に垢ヌケして色を白くする美容上の効果が完全に備はつてゐて、それに香の美しさ、使ひ心地の快さまで、すつかり行屆いたものであります。殊にこの洗粉は、氣持がよいほど色が純白なので、一寸見ても他の洗粉と大分違つてゐる事がお分りになります。皆樣この御內意に依り創製したる洗粉は何の樣な洗粉でせうか。發賣後まだ間もないのに、大變な人氣になりましたのを見ても、此洗粉の品質の特に優れてゐる事がお解りになりませう。未だの方は早くお試しなさいまし、乾度お樂しみが一つ殖ゑます。

ルーデサツク 特製品
A 十個四十錢 B 十個六十錢 三形一個 廿五錢 女用一個八十錢 廿個以上一割引 郵券代用一割增 外に要送料總べて前金の事 振替京城三二七番
京城黃金町三 山田文洋堂藥房

最新刊

書名	著者	定價
死の臨に（絶文な崇嚴としたる鍛錬的殺方新教授法）	[illegible]	一、八〇
中等新作文	十風	一、二〇
趣味の園藝	金井紫雲	一、五〇
家庭實用衣類處理工藝	田中	八〇
恩師乃木院長	服部他助	八五
謠曲と佛教	英 文外	一、〇〇
模範生活法（貯金の出來る）	高橋 孝子	九五
經濟の取方（貯金の出來る）	同	六〇
商業集物語	[illegible]	八〇
活躍間（信體者の）	[illegible]	特八五
中等學校全卒生の進路	[illegible]	八〇
商の仕方	[illegible]	一、二〇
つばきの（賢母の女）	[illegible]	一、二〇
日記文自在	中村	四〇
倫敦の女	小田岡九三	三八
イワンの馬鹿	內田魯庵	二五
大正六年鑛區一覽（朝鮮鑛產地一覽）	[illegible]	六〇
受驗必携朝鮮大法要論	[illegible]	四〇
同 朝鮮行政法大意	同	各四〇
同 法律講義	坂上	特七五
同 法律問答	同	四〇

京城本町一丁目 大阪屋號書店

石炭 明治町一 村山商行 電話一〇五一

大邱浦項間自動車時間
大塚農場自動車所 大邱出張部 電話一一七番

日本郵船仁川出帆
大連行、太沽（天津）行
相模丸 三月二十日 正午出帆
花咲丸 三月 日 正午出帆
筑砂丸 三月 日 正午出帆
仁川海岸町十一丁目 堀 回漕部

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
大有丸 三月廿六日 後四時出帆
秀吉丸 三月廿二日 後四時出帆
君が代丸 三月廿十日 後四時出帆
神代丸 三月廿九日 後四時出帆
仁川海岸通一丁目 高杉回漕部 電話五十九番

阿波共同汽船仁川出帆
芝罘、大連行
伏見丸 三月廿一日 午後入港 三月廿二日 正午出帆
阿波共同汽船株式會社 本町四丁目（電話一七三番） 野口商會
仁川代理店 〔電話二四四七番〕 田口回漕部
元山代理店 〔電話二六八〕 河村運送店

朝鮮郵船出帆

江原丸 四月二日 / 京畿丸 三月廿六日 / 黃海丸 三月三十日 / 咸鏡丸 四月十日 釜山發
穩城丸 三月廿三日 / 昌平丸 三月廿九日 / 鏡城丸 三月廿七日 元山發
昌平丸 三月廿八日 元山發
盛京丸 三月廿七日 釜山發
江陵丸 / 慶興丸 毎日 浦項發・釜山發
三浦丸 三月廿五日 釜山發
海州丸 / 新營丸 毎日 釜山發
平壤丸 / 忠清丸 三月廿三日 / 四月六日 元山發
順天丸 三月廿八日 木浦發
慶興丸 三月廿四日 木浦發
公州丸 三月廿二日 木浦發
江原丸 三月 日 仁川發
麗水丸 / 晋州丸 三月廿四日 / 三月三十日 仁川發
宗信丸 三月廿六日 仁川發
全南丸 / 南陽丸 毎日午前 仁川發
本社 京城南大門驛前 松原運送店

汽船釜山出帆廣告

和歌浦丸 門司、神戸、大阪行 三月廿四日 日後五時出帆
立神丸 門司、神戸、大阪行 四月四日 日後五時出帆
...

大阪商船仁川出帆

群山、木浦、釜山、門司、神阪行 信濃川丸 三月廿八日 日後五時出帆
...
天眞丸 毎月二日九日十六日廿三日 午後十時出帆
本船取扱店 釜山港埠頭新町 大池回漕部

御注意 切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二二二〇番 / 內鮮通運會社京城支店 電話七〇八番